

調査名：千葉県公共用水域水質監視調査（手賀沼）プランクトン同定計数結果

採取地点			根戸下	手賀沼中央	
採取年月日			2021.4.6	2021.4.6	
採取時刻			10:27	10:00	
全水深(m)			2.33	1.80	
採取水深(m)			0.50	0.50	
採水量(ml)			100	100	
No.	門	綱	出現種名		
1	藍色植物	藍藻	Aphanizomenon sp.	(+)	
2			CHROOCOCCALES	(+)	
3			OSCILLATORIALES	(10)	(150)
4	クリプト植物	クリプト藻	CRYPTOPHYCEAE	110	525
5	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Peridinium spp.	5	50
6	不等毛植物	珪藻	Asterionella formosa	+	+
7			Aulacoseira pusilla	20	100
8			Bacillaria paxillifer	+	
9			Fragilaria crotonensis		+
10			Fragilaria sp.	15	
11			Melosira varians	+	+
12			Navicula sp.		+
13			Nitzschia acicularis	20	125
14			Nitzschia fruticosa	+	+
15			Nitzschia spp.	15	150
16			Skeletonema potamos	13750	84250
17			Ulnaria japonica	110	2375
18			Ulnaria sp.	+	
19			Thalassiosiraceae-5	1850	2500
20			Thalassiosiraceae-10	2450	9000
21	ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	Euglena spp.	+	+
22	緑色植物	緑藻	Actinastrum spp.	+	200
23			Chlorogonium spp.	35	75
24			Dictyosphaerium spp.	100	+
25			Eudorina sp.		+
26			Gonium sp.	+	
27			Micractinium sp.	+	
28			Monoraphidium spp.	35	
29			Pandorina morum	+	+
30			Pediastrum duplex	16	
31			Scenedesmus spp.	90	200
32			Tetraedron spp.		50
33			Tetrastrum elegans	20	
34				CHLOROPHYCEAE	230
35	輪形動物	輪虫	Brachionus sp.		+
36	繊毛虫	多膜口	Tintinnidium sp.		1
37			POLYHYMENOPHORA	5	
38		-	CILIOPHORA	10	50
39	肉質鞭毛虫	真正太陽虫	HELIOZOA		+
40	不明プランクトン		微小鞭毛藻(5μm以下)	250	50
41			鞭毛藻	250	150
42			鞭毛虫	300	350

採取地		根戸下	手賀沼中央
採取年月日		2021.4.6	2021.4.6
総数		19696	100701
種類組成	藍藻	10	150
	クリプト藻	110	525
	渦鞭毛藻	5	50
	黄金色藻	0	0
	珪藻	18230	98500
	ユーグレナ藻	0	0
	緑藻	526	875
	その他の植物性動物	500	200
		315	401
検査条件	固定条件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理	
	分離条件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5μmメッシュ）により10倍に濃縮した。	
	検鏡条件	定量試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。	
	検鏡者所属氏名	（一財）千葉県環境財団 業務部 五味真人	
備考			
<ul style="list-style-type: none"> ・計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。 ・細胞数の計数が困難である種については、群体数で計数してその結果に（ ）を付した。 ・定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。 ・藍藻綱 Aphanizomenon 属として従来分類されていた種のうち、トリコーム先端部が段階的に明瞭に細くなり尖って終わる種は Cuspidothrix 属に移されたため、本結果もこれに従った。 ・藍藻綱 Anabaena 属として従来分類されていた種のうち、ガス胞をもつ種（浮遊性種）は、異質細胞とアキネートの位置関係から Dolichospermum 属と Sphaerospermopsis 属に再分類されたため、本結果もこれに従うとともに、異質細胞とアキネートが形成されていないトリコームは Nostocaceae 科として計数した。 ・藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis、M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis、M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa、M. viridis、M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。 ・藍藻綱 Oscillatoria 属、Phormidium 属、Lyngbya 属として従来分類されていた種の一部は、光学顕微鏡下での確認が困難な特徴から Pseudanabaena 属等に再分類されたため、特徴的な種及び属以外は OSCILLATORIALES 目等の上位の分類群までの同定に留めた。 ・珪藻綱 Acanthoceras zachariasii は、従来シノニムである Atteya zachariasii とされていたが、本結果では Acanthoceras zachariasii を採用した。 ・珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。 ・珪藻綱 Asterionella formosa、Aulacoseira pusilla、Nitzschia acicularis は、それぞれ類似種を含めて計数した。 ・珪藻綱 Bacillaria paxillifer は従来シノニムである Bacillaria paradoxa とされていたが、本結果では Bacillaria paxillifer を採用した。 ・珪藻綱 Navicula 属は、類似の属を含めて計数した。 ・珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5μm、10μm、25μm）で区別して各々計数した。 ・珪藻綱 Rhizosolenia 属として従来分類されていた種のうち、淡水性の種は Urosolenia 属として扱うことが一般的であるため、本結果もこれに従った。 ・緑藻綱 Chodatella 属、Lagerheimia 属、Franceia 属は、針状突起の形態等から区別されるが、本結果では区別せずに Chodatella 属に一括して計数した。 ・緑藻綱 Crucigenia 属とCrucigeniella 属は、細胞の分裂様式から区別されるが、分裂様式が不明なものは Crucigenia 属に一括して計数した。 ・緑藻綱 Golenkinia 属と Golenkiniopsis 属は、形態から両属を識別することは困難であるため、Golenkinia 属に一括して計数した。 			

調査名：千葉県公共用水域水質監視調査（手賀沼）プランクトン同定計数結果

採取地			根戸下	手賀沼中央	
採取年月日			2021.4.21	2021.4.21	
採取時刻			10:28	10:03	
全水深(m)			2.20	1.70	
採取水深(m)			0.50	0.50	
採水量(ml)			100	100	
No.	門	綱	出現種名		
1	藍色植物	藍藻	Aphanothece sp.	(5)	
2			Pseudanabaena sp.	(5)	
3			CHROOCOCCALES	(5)	
4			OSCILLATORIALES	(110)	(425)
5	クリプト植物	クリプト藻	CRYPTOPHYCEAE	240	375
6	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Gymnodinium sp.	+	
7			Peridinium spp.	10	
8	不等毛植物	珪藻	Amphora sp.		+
9			Asterionella formosa		+
10			Aulacoseira ambigua	20	+
11			Aulacoseira pusilla		+
12			Aulacoseira granulata		+
13			Fragilaria crotonensis		+
14			Melosira varians		+
15			Nitzschia acicularis	35	200
16			Nitzschia fruticosa	160	300
17			Nitzschia spp.	60	50
18			Skeletonema potamos	25800	63500
19			Staurosirella berolinensis		+
20			Surirella sp.		+
21			Ulnaria japonica	105	325
22			Ulnaria sp.		+
23			Thalassiosiraceae-5	1000	1250
24			Thalassiosiraceae-10	3750	8500
25	Thalassiosiraceae-25		+		
26	ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	Euglena sp.	+	
27	緑色植物	緑藻	Actinastrum spp.	40	100
28			Chlorogonium spp.	20	
29			Dictyosphaerium spp.	100	100
30			Eudorina sp.		16
31			Micractinium sp.		100
32			Monoraphidium spp.	40	250
33			Pediastrum boryanum		+
34			Pediastrum duplex		+
35			Scenedesmus acuminatus		+
36			Scenedesmus bicaudatus		100
37			Scenedesmus spp.	70	700
38			Schroederia spp.	5	50
39			CHLOROPHYCEAE	215	650
40			輪形動物	輪虫	BDELLOIDEA
41	EUROTATOREA	+			
42	繊毛虫	貧膜口	SESSILIDA	+	
43		多膜口	Tintinnidium sp.	+	
44			POLYHYMENOPHORA	25	
45			CILIOPHORA	20	25
46	不明プランクトン		微小鞭毛藻(5μm以下)	150	550
47			鞭毛藻	50	550
48			鞭毛虫	250	150

採取地点		根戸下	手賀沼中央
採取年月日		2021.4.21	2021.4.21
総数		32290	78266
種類組成	藍藻	125	425
	クリプト藻	240	375
	渦鞭毛藻	10	0
	黄金色藻	0	0
	珪藻	30930	74125
	ユーグレナ藻	0	0
	緑藻	490	2066
	その他の植物性動物性	200	1100
検査条件		295	175
検査条件	固定条件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理	
	分離条件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5μmメッシュ）により10倍に濃縮した。	
	検鏡条件	定量試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。	
	検鏡者所属氏名	（一財）千葉県環境財団 業務部 五味真人	
備考			
<ul style="list-style-type: none"> ・計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。 ・細胞数の計数が困難である種については、群体数で計数してその結果に（ ）を付した。 ・定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。 ・藍藻綱 Aphanizomenon 属として従来分類されていた種のうち、トリコーム先端部が段階的に明瞭に細くなり尖って終わる種は Cuspidothrix 属に移されたため、本結果もこれに従った。 ・藍藻綱 Anabaena 属として従来分類されていた種のうち、ガス胞をもつ種（浮遊性種）は、異質細胞とアキネートの位置関係から Dolichospermum 属と Sphaerospermopsis 属に再分類されたため、本結果もこれに従うとともに、異質細胞とアキネートが形成されていないトリコームは Nostocaceae 科として計数した。 ・藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis、M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis、M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa、M. viridis、M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。 ・藍藻綱 Oscillatoria 属、Phormidium 属、Lyngbya 属として従来分類されていた種の一部は、光学顕微鏡下での確認が困難な特徴から Pseudanabaena 属等に再分類されたため、特徴的な種及び属以外は OSCILLATORIALES 目等の上位の分類群までの同定に留めた。 ・珪藻綱 Acanthoceras zachariasii は、従来シノニムである Atteya zachariasii とされていたが、本結果では Acanthoceras zachariasii を採用した。 ・珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。 ・珪藻綱 Asterionella formosa、Aulacoseira pusilla、Nitzschia acicularis は、それぞれ類似種を含めて計数した。 ・珪藻綱 Bacillaria paxillifer は従来シノニムである Bacillaria paradoxa とされていたが、本結果では Bacillaria paxillifer を採用した。 ・珪藻綱 Navicula 属は、類似の属を含めて計数した。 ・珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5μm、10μm、25μm）で区別して各々計数した。 ・珪藻綱 Rhizosolenia 属として従来分類されていた種のうち、淡水性の種は Urosolenia 属として扱うことが一般的であるため、本結果もこれに従った。 ・緑藻綱 Chodatella 属、Lagerheimia 属、Franceia 属は、針状突起の形態等から区別されるが、本結果では区別せずに Chodatella 属に一括して計数した。 ・緑藻綱 Crucigenia 属とCrucigeniella 属は、細胞の分裂様式から区別されるが、分裂様式が不明なものは Crucigenia 属に一括して計数した。 ・緑藻綱 Golenkinia 属と Golenkiniopsis 属は、形態から両属を識別することは困難であるため、Golenkinia 属に一括して計数した。 			

調査名：千葉県公共用水域水質監視調査（手賀沼）プランクトン同定計数結果

採取地点			根戸下	手賀沼中央	
採取年月日			2021.5.7	2021.5.7	
採取時刻			10:16	9:29	
全水深(m)			2.25	1.75	
採取水深(m)			0.50	0.50	
採水量(ml)			100	100	
No.	門	綱	出現種名		
1	藍色植物	藍藻	Merismopedia spp.	(25)	(25)
2			CHROOCOCCALES		(25)
3			OSCILLATORIALES	(10)	(100)
4	クリプト植物	クリプト藻	CRYPTOPHYCEAE	330	325
5	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Peridinium spp.	5	50
6	不等毛植物	珪藻	Asterionella formosa	40	+
7			Aulacoseira ambigua		+
8			Aulacoseira pusilla		100
9			Aulacoseira granulata		+
10			Nitzschia acicularis	80	275
11			Nitzschia fruticosa	30	400
12			Nitzschia spp.	40	100
13			Skeletonema potamos	28050	92000
14			Ulnaria japonica	20	175
15			Thalassiosiraceae-5	300	1500
16			Thalassiosiraceae-10	2100	6750
17	Thalassiosiraceae-25		+		
18	ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	Euglena sp.	5	
19			Trachelomonas sp.	+	
20	緑色植物	緑藻	Actinastrum spp.	+	+
21			Ankistrodesmus sp.		+
22			Chlorogonium spp.	20	25
23			Dictyosphaerium spp.	160	400
24			Gonium sp.	+	
25			Micractinium sp.		+
26			Monoraphidium spp.	20	25
27			Pandorina morum	+	
28			Scenedesmus acuminatus	+	
29			Scenedesmus spp.	40	100
30			Staurastrum sp.		+
31			CHLOROPHYCEAE	105	175
32	輪形動物	輪虫	Brachionus sp.		+
33			Polyarthra sp.	+	
34			Synchaeta sp.		+
35			Trichocercidae		+
36			EUROTATOREA	+	+
37	繊毛虫	多膜口	Tintinnidium spp.	1	+
38			POLYHYMENOPHORA	10	
39			CILIOPHORA	10	50
40	不明プランクトン		微小鞭毛藻(5μm以下)	150	300
41			鞭毛藻	300	500
42			鞭毛虫	300	250

採取地		根戸下	手賀沼中央
採取年月日		2021.5.7	2021.5.7
総数		32151	103650
種類組成	藍藻	35	150
	クリプト藻	330	325
	渦鞭毛藻	5	50
	黄金色藻	0	0
	珪藻	30660	101300
	ユーグレナ藻	5	0
	緑藻	345	725
	その他の植物性動物	450	800
検査条件	固定条件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理	
	分離条件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5μmメッシュ）により10倍に濃縮した。	
	検鏡条件	定量試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。	
	検鏡者所属氏名	（一財）千葉県環境財団 業務部 五味真人	
備考			
<ul style="list-style-type: none"> ・計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。 ・細胞数の計数が困難である種については、群体数で計数してその結果に（ ）を付した。 ・定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。 ・藍藻綱 Aphanizomenon 属として従来分類されていた種のうち、トリコーム先端部が段階的に明瞭に細くなり尖って終わる種は Cuspidothrix 属に移されたため、本結果もこれに従った。 ・藍藻綱 Anabaena 属として従来分類されていた種のうち、ガス胞をもつ種（浮遊性種）は、異質細胞とアキネートの位置関係から Dolichospermum 属と Sphaerospermopsis 属に再分類されたため、本結果もこれに従うとともに、異質細胞とアキネートが形成されていないトリコームは Nostocaceae 科として計数した。 ・藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis, M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis, M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa, M. viridis, M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。 ・藍藻綱 Oscillatoria 属、Phormidium 属、Lyngbya 属として従来分類されていた種の一部は、光学顕微鏡下での確認が困難な特徴から Pseudanabaena 属等に再分類されたため、特徴的な種及び属以外は OSCILLATORIALES 目等の上位の分類群までの同定に留めた。 ・珪藻綱 Acanthoceras zachariasii は、従来シノニムである Atteya zachariasii とされていたが、本結果では Acanthoceras zachariasii を採用した。 ・珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。 ・珪藻綱 Asterionella formosa, Aulacoseira pusilla, Nitzschia acicularis は、それぞれ類似種を含めて計数した。 ・珪藻綱 Bacillaria paxillifer は従来シノニムである Bacillaria paradoxa とされていたが、本結果では Bacillaria paxillifer を採用した。 ・珪藻綱 Navicula 属は、類似の属を含めて計数した。 ・珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5μm、10μm、25μm）で区別して各々計数した。 ・珪藻綱 Rhizosolenia 属として従来分類されていた種のうち、淡水性の種は Urosolenia 属として扱うことが一般的であるため、本結果もこれに従った。 ・緑藻綱 Chodatella 属、Lagerheimia 属、Franceia 属は、針状突起の形態等から区別されるが、本結果では区別せずに Chodatella 属に一括して計数した。 ・緑藻綱 Crucigenia 属とCrucigeniella 属は、細胞の分裂様式から区別されるが、分裂様式が不明なものは Crucigenia 属に一括して計数した。 ・緑藻綱 Golenkinia 属と Golenkiniopsis 属は、形態から両属を識別することは困難であるため、Golenkinia 属に一括して計数した。 			

調査名：千葉県公共用水域水質監視調査（手賀沼）プランクトン同定計数結果

採取地点			根戸下	手賀沼中央		
採取年月日			2021.5.20	2021.5.20		
採取時刻			10:43	10:07		
全水深(m)			2.27	1.75		
採取水深(m)			0.50	0.50		
採水量(ml)			100	100		
No.	門	綱	出現種名			
1	藍色植物	藍藻	Aphanocapsa sp.		(25)	
2			Aphanothece sp.		(25)	
3			Coelosphaerium sp.		(+)	
4			Merismopedia sp.		(25)	
5			Microcystis aeruginosa		+	
6			Pseudanabaena sp.		(25)	
7			CHROCOCCALES		(+)	(50)
8			OSCILLATORIALES		(+)	(+)
9	クリプト植物	クリプト藻	CRYPTOPHYCEAE	1075	500	
10	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Peridinium spp.	75	50	
11	不等毛植物	珪藻	Asterionella formosa	+		
12			Aulacoseira pusilla	+	+	
13			Nitzschia acicularis	25	25	
14			Nitzschia fruticosa	+	+	
15			Nitzschia spp.	75	25	
16			Skeletonema potamos	50250	40750	
17			Ulnaria japonica	+		
18			Thalassiosiraceae-5	575	75	
19			Thalassiosiraceae-10	275	250	
20	ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	Euglena sp.		25	
21			Phacus sp.	25		
22	緑色植物	緑藻	Chlorogonium sp.		25	
23			Coelastrum spp.	+	+	
24			Crucigenia tetrapedia	+		
25			Dictyosphaerium spp.	+	300	
26			Eudorina sp.	32		
27			Golenkinia sp.	+		
28			Monoraphidium spp.	25	50	
29			Oocystis spp.	+	+	
30			Pediastrum boryanum	+		
31			Pediastrum duplex	+	+	
32			Scenedesmus spp.	200	50	
33			Tetraedron sp.	25		
34				CHLOROPHYCEAE	600	375
35	輪形動物	輪虫	Brachionus spp.	1	+	
36			Filinia sp.	1		
37			Trichocercidae		4	
38	繊毛虫	多膜口	Tintinnidium spp.	1	2	
39			POLYHYMENOPHORA		25	
40		-	CILIOPHORA	150	125	
41	肉質鞭毛虫	真正太陽虫	HELIOZOA		+	
42	不明プランクトン		微小鞭毛藻(5μm以下)	150	250	
43			鞭毛藻	350	200	
44			鞭毛虫	50	250	

採取地点		根戸下	手賀沼中央
採取年月日		2021.5.20	2021.5.20
総数		53960	43506
種類組成	藍藻	0	150
	クリプト藻	1075	500
	渦鞭毛藻	75	50
	黄金色藻	0	0
	珪藻	51200	41125
	ユーグレナ藻	25	25
	緑藻	882	800
	その他の植物性動物	500 203	450 406
検査条件	固定条件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理	
	分離条件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5μmメッシュ）により10倍に濃縮した。	
	検鏡条件	定量試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。	
	検鏡者所属氏名	（一財）千葉県環境財団 業務部 五味真人	
備考			
<ul style="list-style-type: none"> ・計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。 ・細胞数の計数が困難である種については、群体数で計数してその結果に（ ）を付した。 ・定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。 ・藍藻綱 Aphanizomenon 属として従来分類されていた種のうち、トリコーム先端部が段階的に明瞭に細くなり尖って終わる種は Cuspidothrix 属に移されたため、本結果もこれに従った。 ・藍藻綱 Anabaena 属として従来分類されていた種のうち、ガス胞をもつ種（浮遊性種）は、異質細胞とアキネートの位置関係から Dolichospermum 属と Sphaerospermopsis 属に再分類されたため、本結果もこれに従うとともに、異質細胞とアキネートが形成されていないトリコームは Nostocaceae 科として計数した。 ・藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis, M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis, M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa, M. viridis, M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。 ・藍藻綱 Oscillatoria 属、Phormidium 属、Lyngbya 属として従来分類されていた種の一部は、光学顕微鏡下での確認が困難な特徴から Pseudanabaena 属等に再分類されたため、特徴的な種及び属以外は OSCILLATORIALES 目等の上位の分類群までの同定に留めた。 ・珪藻綱 Acanthoceras zachariasii は、従来シノニムである Atteya zachariasii とされていたが、本結果では Acanthoceras zachariasii を採用した。 ・珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。 ・珪藻綱 Asterionella formosa, Aulacoseira pusilla, Nitzschia acicularis は、それぞれ類似種を含めて計数した。 ・珪藻綱 Bacillaria paxillifer は従来シノニムである Bacillaria paradoxa とされていたが、本結果では Bacillaria paxillifer を採用した。 ・珪藻綱 Navicula 属は、類似の属を含めて計数した。 ・珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5μm、10μm、25μm）で区別して各々計数した。 ・珪藻綱 Rhizosolenia 属として従来分類されていた種のうち、淡水性の種は Urosolenia 属として扱うことが一般的であるため、本結果もこれに従った。 ・緑藻綱 Chodatella 属、Lagerheimia 属、Franceia 属は、針状突起の形態等から区別されるが、本結果では区別せずに Chodatella 属に一括して計数した。 ・緑藻綱 Crucigenia 属と Crucigeniella 属は、細胞の分裂様式から区別されるが、分裂様式が不明なものは Crucigenia 属に一括して計数した。 ・緑藻綱 Golenkinia 属と Golenkiniopsis 属は、形態から両属を識別することは困難であるため、Golenkinia 属に一括して計数した。 			

調査名：千葉県公共用水域水質監視調査（手賀沼）プランクトン同定計数結果

採取地点			根戸下	手賀沼中央
採取年月日			2021.6.3	2021.6.3
採取時刻			13:33	13:05
全水深(m)			2.20	1.72
採取水深(m)			0.50	0.50
採水量(ml)			100	100
No.	門	綱	出現種名	
1	藍色植物	藍藻	Aphanocapsa sp.	(+)
2			Merismopedia sp.	(25)
3			Snowella sp.	(+)
4			CHROOCOCCALES	(+)
5			OSCILLATORIALES	(+)
6	クリプト植物	クリプト藻	CRYPTOPHYCEAE	+ 900
7	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Peridinium spp.	+ +
8	不等毛植物	珪藻	Aulacoseira ambigua	50 +
9			Aulacoseira pusilla	5 +
10			Aulacoseira granulata	+ +
11			Fragilaria sp.	+ +
12			Nitzschia acicularis	5 100
13			Nitzschia fruticosa	+ 100
14			Nitzschia spp.	15 175
15			Skeletonema potamos	55750 82750
16			Staurosirella berolinensis	20 +
17			Ulnaria japonica	+ 25
18			Thalassiosiraceae-5	1000 1100
19			Thalassiosiraceae-10	800 1875
20			Thalassiosiraceae-25	+ +
21			緑色植物	緑藻
22	Ankistrodesmus sp.	+ +		
23	Chlorogonium spp.	25 50		
24	Crucigeniella crucifera	+ +		
25	Dictyosphaerium sp.	+ +		
26	Micractinium sp.	+ +		
27	Monoraphidium spp.	+ 50		
28	Oocystis sp.	+ +		
29	Pediastrum boryanum	+ +		
30	Pediastrum duplex	+ 16		
31	Pediastrum simplex	+ 16		
32	Pediastrum tetras	+ +		
33	Scenedesmus acuminatus	60 +		
34	Scenedesmus bicaudatus	+ 100		
35	Scenedesmus denticulatus	+ +		
36	Scenedesmus spp.	80 250		
37	Tetraedron sp.	+ 25		
38	CHLOROPHYCEAE	115 250		
39	輪形動物	輪虫	Brachionus spp.	1 2
40			Polyarthra sp.	+ 1
41			Trichocercidae	+ 1
42			EUROTATOREA	1 +
43	絨毛虫	多膜口	POLYHYMENOPHORA	+ 75
44		-	CILIOPHORA	5 +
45	不明プランクトン		微小鞭毛藻(5μm以下)	100 200
46			鞭毛藻	250 400
47			鞭毛虫	200 300

採取地点		根戸下	手賀沼中央
採取年月日		2021.6.3	2021.6.3
総数		58482	88786
種類組成	藍藻	0	25
	クリプト藻	0	900
	渦鞭毛藻	0	0
	黄金色藻	0	0
	珪藻	57645	86125
	ユーグレナ藻	0	0
	緑藻	280	757
	その他の植物性動物性	350	600
検査条件	固定条件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理	
	分離条件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5μmメッシュ）により10倍に濃縮した。	
	検鏡条件	定量試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。	
	検鏡者所属氏名	（一財）千葉県環境財団 業務部 五味真人	
備考			
<ul style="list-style-type: none"> ・計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。 ・細胞数の計数が困難である種については、群体数で計数してその結果に（ ）を付した。 ・定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。 ・藍藻綱 Aphanizomenon 属として従来分類されていた種のうち、トリコーム先端部が段階的に明瞭に細くなり尖って終わる種は Cuspidothrix 属に移されたため、本結果もこれに従った。 ・藍藻綱 Anabaena 属として従来分類されていた種のうち、ガス胞をもつ種（浮遊性種）は、異質細胞とアキネートの位置関係から Dolichospermum 属と Sphaerospermopsis 属に再分類されたため、本結果もこれに従うとともに、異質細胞とアキネートが形成されていないトリコームは Nostocaceae 科として計数した。 ・藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis, M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis, M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa, M. viridis, M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。 ・藍藻綱 Oscillatoria 属、Phormidium 属、Lyngbya 属として従来分類されていた種の一部は、光学顕微鏡下での確認が困難な特徴から Pseudanabaena 属等に再分類されたため、特徴的な種及び属以外は OSCILLATORIALES 目等の上位の分類群までの同定に留めた。 ・珪藻綱 Acanthoceras zachariasii は、従来シノニムである Atteya zachariasii とされていたが、本結果では Acanthoceras zachariasii を採用した。 ・珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。 ・珪藻綱 Asterionella formosa, Aulacoseira pusilla, Nitzschia acicularis は、それぞれ類似種を含めて計数した。 ・珪藻綱 Bacillaria paxillifer は従来シノニムである Bacillaria paradoxa とされていたが、本結果では Bacillaria paxillifer を採用した。 ・珪藻綱 Navicula 属は、類似の属を含めて計数した。 ・珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5μm、10μm、25μm）で区別して各々計数した。 ・珪藻綱 Rhizosolenia 属として従来分類されていた種のうち、淡水性の種は Urosolenia 属として扱うことが一般的であるため、本結果もこれに従った。 ・緑藻綱 Chodatella 属、Lagerheimia 属、Franceia 属は、針状突起の形態等から区別されるが、本結果では区別せずに Chodatella 属に一括して計数した。 ・緑藻綱 Crucigenia 属とCrucigeniella 属は、細胞の分裂様式から区別されるが、分裂様式が不明なものは Crucigenia 属に一括して計数した。 ・緑藻綱 Golenkinia 属と Golenkiniopsis 属は、形態から両属を識別することは困難であるため、Golenkinia 属に一括して計数した。 			

調査名：千葉県公共用水域水質監視調査（手賀沼）プランクトン同定計数結果

採取地点			根戸下	手賀沼中央	
採取年月日			2021.6.23	2021.6.23	
採取時刻			10:34	11:57	
全水深(m)			2.25	1.75	
採取水深(m)			0.50	0.50	
採水量(ml)			100	100	
No.	門	綱	出現種名		
1	藍色植物	藍藻	Aphanocapsa spp.	(75)	(50)
2			Aphanothece spp.		(50)
3			Merismopedia spp.	(125)	(575)
4			Microcystis aeruginosa		+
5			Pseudanabaena sp.		(+)
6			CHROCOCCALES	(+)	(100)
7			OSCILLATORIALES	(+)	(75)
8	クリプト植物	クリプト藻	CRYPTOPHYCEAE	3750	1875
9	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Peridinium spp.	125	100
10	不等毛植物	ラフィド藻	RAPHIDOPHYCEAE	1	
11		珪藻	Acanthoceras zachariasi	+	
12			Aulacoseira ambigua	+	
13			Aulacoseira pusilla	+	300
14			Aulacoseira granulata	+	
15			Nitzschia acicularis	25	175
16			Nitzschia fruticosa	+	+
17			Nitzschia spp.	250	150
18			Skeletonema potamos	2825	475
19			Ulnaria japonica		+
20			Thalassiosiraceae-5	8500	19250
21			Thalassiosiraceae-10	14000	10250
22			Thalassiosiraceae-25		+
23	ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	Euglena sp.		25
24	緑色植物	緑藻	Actinastrum spp.	+	+
25			Chlorogonium spp.	250	125
26			Chodatella wratislawiensis		25
27			Chodatella sp.		+
28			Coelastrum sp.		200
29			Crucigenia spp.	200	100
30			Crucigeniella crucifera		+
31			Dichotomococcus spp.	600	+
32			Dictyosphaerium spp.	100	400
33			Elakatothrix sp.	+	
34			Golenkinia spp.	+	+
35			Micractinium sp.		+
36			Monoraphidium spp.	100	200
37			Oocystis sp.		100
38			Pandorina morum	8	
39			Pediastrum duplex		+
40			Pediastrum simplex	+	+
41			Scenedesmus acuminatus		+
42			Scenedesmus bicaudatus		100
43			Scenedesmus denticulatus		100
44			Scenedesmus spp.	400	950
45			Schroederia spp.	50	+
46			Tetraedron spp.	25	25
47			Treubaria sp.		+
48			CHLOROPHYCEAE	600	825
49	輪形動物	輪虫	Brachionus spp.		2
50			Polyarthra sp.		1
51			Trichocercidae		3
52			EUROTATOREA		1
53	絨毛虫	貧膜口	SESSILIDA		+
54		多膜口	Tintinnidium spp.	4	3
55			POLYHYMENOPHORA	25	25
56		-	CILIOPHORA	50	25
57	肉質鞭毛虫	真正太陽虫	HELIOZOA	+	+
58	不明プランクトン		微小鞭毛藻(5μm以下)	300	550
59			鞭毛藻	500	250
60			鞭毛虫	250	500

採取地		根戸下	手賀沼中央
採取年月日		2021.6.23	2021.6.23
総数		33138	37960
種類組成	藍藻	200	850
	クリプト藻	3750	1875
	渦鞭毛藻	125	100
	黄金色藻	0	0
	珪藻	25600	30600
	ユーグレナ藻	0	25
	緑藻	2333	3150
	その他の植物性動物	801	800
検査条件		329	560
検査条件	固定条件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理	
	分離条件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5μmメッシュ）により10倍に濃縮した。	
	検鏡条件	定量試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。	
	検鏡者所属氏名	（一財）千葉県環境財団 業務部 五味真人	
備考			
<ul style="list-style-type: none"> ・計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。 ・細胞数の計数が困難である種については、群体数で計数してその結果に（ ）を付した。 ・定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。 ・藍藻綱 Aphanizomenon 属として従来分類されていた種のうち、トリコーム先端部が段階的に明瞭に細くなり尖って終わる種は Cuspidothrix 属に移されたため、本結果もこれに従った。 ・藍藻綱 Anabaena 属として従来分類されていた種のうち、ガス胞をもつ種（浮遊性種）は、異質細胞とアキネートの位置関係から Dolichospermum 属と Sphaerospermopsis 属に再分類されたため、本結果もこれに従うとともに、異質細胞とアキネートが形成されていないトリコームは Nostocaceae 科として計数した。 ・藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis, M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis, M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa, M. viridis, M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。 ・藍藻綱 Oscillatoria 属、Phormidium 属、Lyngbya 属として従来分類されていた種の一部は、光学顕微鏡下での確認が困難な特徴から Pseudanabaena 属等に再分類されたため、特徴的な種及び属以外は OSCILLATORIALES 目等の上位の分類群までの同定に留めた。 ・珪藻綱 Acanthoceras zachariasii は、従来シノニムである Atteya zachariasii とされていたが、本結果では Acanthoceras zachariasii を採用した。 ・珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。 ・珪藻綱 Asterionella formosa, Aulacoseira pusilla, Nitzschia acicularis は、それぞれ類似種を含めて計数した。 ・珪藻綱 Bacillaria paxillifer は従来シノニムである Bacillaria paradoxa とされていたが、本結果では Bacillaria paxillifer を採用した。 ・珪藻綱 Navicula 属は、類似の属を含めて計数した。 ・珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5μm、10μm、25μm）で区別して各々計数した。 ・珪藻綱 Rhizosolenia 属として従来分類されていた種のうち、淡水性の種は Urosolenia 属として扱うことが一般的であるため、本結果もこれに従った。 ・緑藻綱 Chodatella 属、Lagerheimia 属、Franceia 属は、針状突起の形態等から区別されるが、本結果では区別せずに Chodatella 属に一括して計数した。 ・緑藻綱 Crucigenia 属と Crucigeniella 属は、細胞の分裂様式から区別されるが、分裂様式が不明なものは Crucigenia 属に一括して計数した。 ・緑藻綱 Golenkinia 属と Golenkiniopsis 属は、形態から両属を識別することは困難であるため、Golenkinia 属に一括して計数した。 			

調査名：千葉県公共用水域水質監視調査（手賀沼）プランクトン同定計数結果

採取地点			根戸下	手賀沼中央
採取年月日			2021.7.6	2021.7.6
採取時刻			10:00	9:37
全水深(m)			2.30	1.90
採取水深(m)			0.50	0.50
採水量(ml)			100	100
No.	門	綱	出現種名	
1	藍色植物	藍藻	Aphanocapsa sp.	(5)
2			Aphanothece spp.	(10)
3			Merismopedia spp.	(5)
4			Romeria sp.	(+)
5			CHROOCOCCALES	(5)
6			OSCILLATORIALES	(5)
7	クリプト植物	クリプト藻	CRYPTOPHYCEAE	725
8	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Gymnodinium spp.	5
9			Peridinium sp.	+
10	不等毛植物	黄金色藻	Mallomonas sp.	5
11	不等毛植物	珪藻	Acanthoceras zachariasi	+
12			Aulacoseira ambigua	30
13			Aulacoseira pusilla	+
14			Aulacoseira granulata	+
15			Nitzschia acicularis	10
16			Nitzschia fruticosa	20
17			Nitzschia spp.	25
18			Skeletonema potamos	630
19			Ulnaria japonica	+
20			Ulnaria sp.	+
21			Thalassiosiraceae-5	900
22			Thalassiosiraceae-10	450
23			Thalassiosiraceae-25	5
24	緑色植物	緑藻	Actinastrum sp.	+
25			Chlorogonium spp.	10
26			Chodatella sp.	5
27			Closterium spp.	+
28			Coelastrum sp.	+
29			Crucigeniella crucifera	+
30			Dichotomococcus spp.	20
31			Dictyosphaerium sp.	20
32			Elakatothrix sp.	+
33			Golenkinia spp.	10
34			Micractinium spp.	20
35			Monoraphidium spp.	10
36			Pediastrum duplex	+
37			Pediastrum simplex	+
38			Pediastrum tetras	+
39			Scenedesmus bicaudatus	20
40			Scenedesmus spp.	60
41			Schroederia spp.	+
42			Tetraedron spp.	10
43				CHLOROPHYCEAE
44	輪形動物	輪虫	Brachionus sp.	1
45			Polyarthra sp.	+
46			BDELLOIDEA	+
47			EUROTATOREA	+
48	繊毛虫	多膜口	POLYHYMENOPHORA	35
49		-	CILIOPHORA	10
50	肉質鞭毛虫	真正太陽虫	HELIOZOA	+
51	不明プランクトン		微小鞭毛藻(5μm以下)	25
52			鞭毛藻	50
53			鞭毛虫	25

採取地		根戸下	手賀沼中央
採取年月日		2021.7.6	2021.7.6
総数		3330	6201
種類組成	藍藻	10	45
	クリプト藻	725	290
	渦鞭毛藻	5	0
	黄金色藻	0	5
	珪藻	2035	4980
	ユーグレナ藻	0	0
	緑藻	410	620
	その他の植物性動物	75	125
検査条件	固定条件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理	
	分離条件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5μmメッシュ）により10倍に濃縮した。	
	検鏡条件	定量試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。	
	検鏡者所属氏名	（一財）千葉県環境財団 業務部 五味真人	
備考			
<ul style="list-style-type: none"> ・計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。 ・細胞数の計数が困難である種については、群体数で計数してその結果に（ ）を付した。 ・定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。 ・藍藻綱 Aphanizomenon 属として従来分類されていた種のうち、トリコーム先端部が段階的に明瞭に細くなり尖って終わる種は Cuspidothrix 属に移されたため、本結果もこれに従った。 ・藍藻綱 Anabaena 属として従来分類されていた種のうち、ガス胞をもつ種（浮遊性種）は、異質細胞とアキネートの位置関係から Dolichospermum 属と Sphaerospermopsis 属に再分類されたため、本結果もこれに従うとともに、異質細胞とアキネートが形成されていないトリコームは Nostocaceae 科として計数した。 ・藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis, M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis, M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa, M. viridis, M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。 ・藍藻綱 Oscillatoria 属、Phormidium 属、Lyngbya 属として従来分類されていた種の一部は、光学顕微鏡下での確認が困難な特徴から Pseudanabaena 属等に再分類されたため、特徴的な種及び属以外は OSCILLATORIALES 目等の上位の分類群までの同定に留めた。 ・珪藻綱 Acanthoceras zachariasii は、従来シノニムである Atteya zachariasii とされていたが、本結果では Acanthoceras zachariasii を採用した。 ・珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。 ・珪藻綱 Asterionella formosa, Aulacoseira pusilla, Nitzschia acicularis は、それぞれ類似種を含めて計数した。 ・珪藻綱 Bacillaria paxillifer は従来シノニムである Bacillaria paradoxa とされていたが、本結果では Bacillaria paxillifer を採用した。 ・珪藻綱 Navicula 属は、類似の属を含めて計数した。 ・珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5μm、10μm、25μm）で区別して各々計数した。 ・珪藻綱 Rhizosolenia 属として従来分類されていた種のうち、淡水性の種は Urosolenia 属として扱うことが一般的であるため、本結果もこれに従った。 ・緑藻綱 Chodatella 属、Lagerheimia 属、Franceia 属は、針状突起の形態等から区別されるが、本結果では区別せずに Chodatella 属に一括して計数した。 ・緑藻綱 Crucigenia 属とCrucigeniella 属は、細胞の分裂様式から区別されるが、分裂様式が不明なものは Crucigenia 属に一括して計数した。 ・緑藻綱 Golenkinia 属と Golenkiniopsis 属は、形態から両属を識別することは困難であるため、Golenkinia 属に一括して計数した。 			

調査名：千葉県公共用水域水質監視調査（手賀沼）プランクトン同定計数結果

採取地点			根戸下	手賀沼中央
採取年月日			2021.7.20	2021.7.20
採取時刻			10:32	10:09
全水深(m)			2.23	1.90
採取水深(m)			0.50	0.50
採水量(ml)			100	100
No.	門	綱	出現種名	
1	藍色植物	藍藻	Aphanocapsa spp.	(30) (175)
2			Aphanothece spp.	(5) (25)
3			Merismopedia spp.	(95) (800)
4			Romeria spp.	(400)
5			Pseudanabaenaceae	(25)
6			CHROOCOCCALES	(+)
7			OSCILLATORIALES	(25) (175)
8	クリプト植物	クリプト藻	CRYPTOPHYCEAE	2200 4125
9	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Gymnodinium spp.	20
10			Peridinium spp.	45 100
11	不等毛植物	珪藻	Aulacoseira pusilla	10
12			Fragilaria spp.	175
13			Nitzschia acicularis	100 425
14			Nitzschia fruticosa	10 +
15			Nitzschia spp.	70 250
16			Skeletonema potamos	2000 175
17			Surirella sp.	1
18			Ulnaria japonica	5 +
19			Ulnaria sp.	5
20			Thalassiosiraceae-5	2100 525
21			Thalassiosiraceae-10	1450 375
22			Thalassiosiraceae-25	5
23	ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	Euglena spp.	10 +
24	緑色植物	緑藻	Actinastrum spp.	+ 200
25			Chlorogonium spp.	240 275
26			Closterium sp.	+
27			Crucigenia lauterbornii	+
28			Dichotomococcus spp.	+ 50
29			Dictyosphaerium sp.	+
30			Elakatothrix sp.	50
31			Micractinium sp.	+
32			Monoraphidium spp.	5 100
33			Oocystis spp.	+ +
34			Pediastrum duplex	16
35			Pediastrum simplex	64 +
36			Scenedesmus bicaudatus	100
37			Scenedesmus spp.	30 150
38			Schroederia sp.	5
39			Treubaria sp.	+
40			CHLOROPHYCEAE	525 325
41			輪形動物	輪虫
42	Polyarthra spp.	3		
43	Schizocerca diversicornis	+		
44	Trichocercidae	9 30		
45	EUROTATOREA	+ 3		
46	繊毛虫	多膜口	Tintinnidium spp.	2 1
47			POLYHYMENOPHORA	25 325
48		-	CILIOPHORA	25 50
49	肉質鞭毛虫	真正太陽虫	HELIOZOA	+ 50
50	不明プランクトン		微小鞭毛藻 (5 μm以下)	300 950
51			鞭毛藻	650 600
52			鞭毛虫	50 850

採取地		根戸下	手賀沼中央
採取年月日		2021.7.20	2021.7.20
総数		10131	11865
種類組成	藍藻	155	1600
	クリプト藻	2200	4125
	渦鞭毛藻	65	100
	黄金色藻	0	0
	珪藻	5755	1926
	ユーグレナ藻	10	0
	緑藻	885	1250
	その他の植物性動物	950	1550
検査条件		111	1314
固定条件		定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理	
分離条件		定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5μmメッシュ）により10倍に濃縮した。	
検鏡条件		定量試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。	
検鏡者所属氏名		（一財）千葉県環境財団 業務部 五味真人	
備考			
<ul style="list-style-type: none"> ・計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。 ・細胞数の計数が困難である種については、群体数で計数してその結果に（ ）を付した。 ・定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。 ・藍藻綱 Aphanizomenon 属として従来分類されていた種のうち、トリコーム先端部が段階的に明瞭に細くなり尖って終わる種は Cuspidothrix 属に移されたため、本結果もこれに従った。 ・藍藻綱 Anabaena 属として従来分類されていた種のうち、ガス胞をもつ種（浮遊性種）は、異質細胞とアキネートの位置関係から Dolichospermum 属と Sphaerospermopsis 属に再分類されたため、本結果もこれに従うとともに、異質細胞とアキネートが形成されていないトリコームは Nostocaceae 科として計数した。 ・藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis, M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis, M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa, M. viridis, M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。 ・藍藻綱 Oscillatoria 属、Phormidium 属、Lyngbya 属として従来分類されていた種の一部は、光学顕微鏡下での確認が困難な特徴から Pseudanabaena 属等に再分類されたため、特徴的な種及び属以外は OSCILLATORIALES 目等の上位の分類群までの同定に留めた。 ・珪藻綱 Acanthoceras zachariasii は、従来シノニムである Atteya zachariasii とされていたが、本結果では Acanthoceras zachariasii を採用した。 ・珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。 ・珪藻綱 Asterionella formosa, Aulacoseira pusilla, Nitzschia acicularis は、それぞれ類似種を含めて計数した。 ・珪藻綱 Bacillaria paxillifer は従来シノニムである Bacillaria paradoxa とされていたが、本結果では Bacillaria paxillifer を採用した。 ・珪藻綱 Navicula 属は、類似の属を含めて計数した。 ・珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5μm、10μm、25μm）で区別して各々計数した。 ・珪藻綱 Rhizosolenia 属として従来分類されていた種のうち、淡水性の種は Urosolenia 属として扱うことが一般的であるため、本結果もこれに従った。 ・緑藻綱 Chodatella 属、Lagerheimia 属、Franceia 属は、針状突起の形態等から区別されるが、本結果では区別せずに Chodatella 属に一括して計数した。 ・緑藻綱 Crucigenia 属と Crucigeniella 属は、細胞の分裂様式から区別されるが、分裂様式が不明なものは Crucigenia 属に一括して計数した。 ・緑藻綱 Golenkinia 属と Golenkiniopsis 属は、形態から両属を識別することは困難であるため、Golenkinia 属に一括して計数した。 			

調査名：千葉県公共用水域水質監視調査（手賀沼）プランクトン同定計数結果

採取地点			根戸下	手賀沼中央		
採取年月日			2021.8.4	2021.8.4		
採取時刻			10:06	9:39		
全水深(m)			2.31	1.70		
採取水深(m)			0.50	0.50		
採水量(ml)			100	100		
No.	門	綱	出現種名			
1	藍色植物	藍藻	Aphanocapsa spp.	(100)		
2			Aphanothece sp.	(25)		
3			Cyanodictyon spp.	(1000) (4125)		
4			Merismopedia spp.	(100) (100)		
5			Microcystis aeruginosa		50	
6			Pseudanabaena spp.	(+)	(75)	
7			Pseudanabaenaceae	(+)	(75)	
8			CHROOCOCCALES	(+)	(225)	
9			OSCILLATORIALES	(100)	(375)	
10	クリプト植物	クリプト藻	CRYPTOPHYCEAE	475 1000		
11	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Peridinium spp.	25 75		
12	不等毛植物	黄金色藻	Mallomonas sp.	+		
13			珪藻	Acanthoceras zachariasi	+	
14				Aulacoseira ambigua	+	
15				Aulacoseira pusilla		50
16				Aulacoseira granulata		+
17				Melosira varians	+	
18				Nitzschia acicularis	175	1750
19				Nitzschia fruticosa	+	+
20				Nitzschia spp.	150	2250
21				Skeletonema potamos	2500	1300
22				Ulnaria japonica	+	25
23				Thalassiosiraceae-5	8500	10500
24				Thalassiosiraceae-10	9000	12000
25				Thalassiosiraceae-25		+
26				ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	Euglena spp.
27	緑色植物	緑藻		Actinastrum sp.	+	
28			Ankistrodesmus sp.		+	
29			Chlorogonium spp.	50	75	
30			Coelastrum sp.		+	
31			Cosmarium sp.		+	
32			Crucigenia lauterbornii	+	400	
33			Crucigeniella crucifera	+		
34			Dichotomococcus sp.		500	
35			Dictyosphaerium spp.	900	100	
36			Elakatothrix sp.	+		
37			Golenkinia sp.	+		
38			Micractinium spp.	+	+	
39			Monoraphidium spp.	+	100	
40			Oocystis sp.		+	
41			Pandorina morum	16		
42			Pediastrum duplex	+	16	
43			Pediastrum simplex	48	64	
44			Pediastrum tetras	8	8	
45			Pteromonas sp.		+	
46			Scenedesmus acuminatus		+	
47			Scenedesmus bicaudatus		+	
48			Scenedesmus denticulatus	+	100	
49			Scenedesmus spp.	300	550	
50			Schroederia spp.	50	200	
51			Staurastrum sp.	+		
52			Tetraedron sp.	25		
53			Tetrastrum elegans	+		
54			Treubaria sp.	25		
55			CHLOROPHYCEAE	350	875	
56			輪形動物	輪虫	Brachionus spp.	1
57	Polyarthra spp.	+			1	
58	Trichocercidae	3			3	
59	EUROTATOREA	+			+	
60	繊毛虫	貧膜口	SESSILIDA		50	
61			多膜口	Tintinnidium sp.	+	
62		-	POLYHYMENOPHORA	50	+	
63			CILIOPHORA	+	75	
64	肉質鞭毛虫	葉状根足虫	LOBOSEA		75	
65		真正太陽虫	HELIOZOA	+		
66	不明プランクトン	微小鞭毛藻(5μm以下)	550	750		
67		鞭毛藻	250	300		
68		鞭毛虫	150	450		

採取地点		根戸下	手賀沼中央
採取年月日		2021.8.4	2021.8.4
総数		24826	38817
種類組成	藍藻	1200	5150
	クリプト藻	475	1000
	渦鞭毛藻	25	75
	黄金色藻	0	0
	珪藻	20325	27875
	ユーグレナ藻	25	25
	緑藻	1772	2988
	その他の植物性動物性	800	1050
検査条件		204	654
固定条件		定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理	
分離条件		定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5μmメッシュ）により10倍に濃縮した。	
検鏡条件		定量試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。	
検鏡者所属氏名		（一財）千葉県環境財団 業務部 五味真人	
備考			
<ul style="list-style-type: none"> ・計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。 ・細胞数の計数が困難である種については、群体数で計数してその結果に（ ）を付した。 ・定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。 ・藍藻綱 Aphanizomenon 属として従来分類されていた種のうち、トリコーム先端部が段階的に明瞭に細くなり尖って終わる種は Cuspidothrix 属に移されたため、本結果もこれに従った。 ・藍藻綱 Anabaena 属として従来分類されていた種のうち、ガス胞をもつ種（浮遊性種）は、異質細胞とアキネートの位置関係から Dolichospermum 属と Sphaerospermopsis 属に再分類されたため、本結果もこれに従うとともに、異質細胞とアキネートが形成されていないトリコームは Nostocaceae 科として計数した。 ・藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis, M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis, M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa, M. viridis, M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。 ・藍藻綱 Oscillatoria 属、Phormidium 属、Lyngbya 属として従来分類されていた種の一部は、光学顕微鏡下での確認が困難な特徴から Pseudanabaena 属等に再分類されたため、特徴的な種及び属以外は OSCILLATORIALES 目等の上位の分類群までの同定に留めた。 ・珪藻綱 Acanthoceras zachariasii は、従来シノニムである Atteya zachariasii とされていたが、本結果では Acanthoceras zachariasii を採用した。 ・珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。 ・珪藻綱 Asterionella formosa, Aulacoseira pusilla, Nitzschia acicularis は、それぞれ類似種を含めて計数した。 ・珪藻綱 Bacillaria paxillifer は従来シノニムである Bacillaria paradoxa とされていたが、本結果では Bacillaria paxillifer を採用した。 ・珪藻綱 Navicula 属は、類似の属を含めて計数した。 ・珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5μm、10μm、25μm）で区別して各々計数した。 ・珪藻綱 Rhizosolenia 属として従来分類されていた種のうち、淡水性の種は Urosolenia 属として扱うことが一般的であるため、本結果もこれに従った。 ・緑藻綱 Chodatella 属、Lagerheimia 属、Franceia 属は、針状突起の形態等から区別されるが、本結果では区別せずに Chodatella 属に一括して計数した。 ・緑藻綱 Crucigenia 属とCrucigeniella 属は、細胞の分裂様式から区別されるが、分裂様式が不明なものは Crucigenia 属に一括して計数した。 ・緑藻綱 Golenkinia 属と Golenkiniopsis 属は、形態から両属を識別することは困難であるため、Golenkinia 属に一括して計数した。 			

調査名：千葉県公共用水域水質監視調査（手賀沼）プランクトン同定計数結果

採取地点			根戸下	手賀沼中央	
採取年月日			2021. 8. 19	2021. 8. 19	
採取時刻			10:25	10:00	
全水深 (m)			2.32	1.74	
採取水深 (m)			0.50	0.50	
採水量 (ml)			100	100	
No.	門	綱	出現種名		
1	藍色植物	藍藻	Aphanocapsa spp.	(5)	(+)
2			Aphanothece spp.	(5)	(+)
3			Cyanodictyon spp.	(25)	(25)
4			Merismopedia spp.	(20)	(15)
5			Microcystis aeruginosa	+	+
6			Romeria sp.	(5)	
7			Nostocaceae		(+)
8			CHROOCOCCALES	(20)	(35)
9			OSCILLATORIALES	(50)	(40)
10	クリプト植物	クリプト藻	CRYPTOPHYCEAE	400	375
11	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Gymnodinium spp.	+	+
12			Peridinium spp.	5	+
13	不等毛植物	黄金色藻	Mallomonas sp.		5
14	不等毛植物	黄緑藻	XANTHOPHYCEAE	+	
15	不等毛植物	珪藻	Aulacoseira ambigua	+	+
16			Aulacoseira pusilla	90	40
17			Aulacoseira granulata	30	+
18			Nitzschia acicularis	75	95
19			Nitzschia fruticosa	+	+
20			Nitzschia spp.	65	60
21			Skeletonema potamos	3650	3050
22			Ulnaria japonica		+
23			Ulnaria sp.	5	
24			Thalassiosiraceae-5	750	1100
25			Thalassiosiraceae-10	1950	1450
26	Thalassiosiraceae-25	+			
27	ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	Euglena spp.	+	20
28	緑色植物	緑藻	Acanthosphaera sp.		5
29			Actinastrum spp.	+	40
30			Chlorogonium spp.	15	15
31			Chodatella chodatii	5	
32			Chodatella sp.		+
33			Closterium spp.	3	
34			Coelastrum spp.	+	160
35			Cosmarium sp.		+
36			Crucigenia sp.		20
37			Crucigeniella crucifera		100
38			Dictyosphaerium spp.	40	120
39			Elakatothrix sp.	10	
40			Golenkinia spp.	10	5
41			Micractinium spp.	120	+
42			Monoraphidium spp.	20	50
43			Oocystis spp.	20	+
44			Pediastrum duplex	32	
45			Pediastrum simplex	96	120
46			Pediastrum tetras	16	
47			Scenedesmus acuminatus	+	
48			Scenedesmus bicaudatus		20
49			Scenedesmus spp.	110	100
50			Schroederia spp.	5	15
51			Tetraedron sp.	+	
52			Tetrastrum elegans		+
53			Treubaria sp.	5	
54			CHLOROPHYCEAE	340	850
55	輪形動物	輪虫	Polyarthra spp.	+	1
56			Trichocercidae		+
57	繊毛虫	多膜口	POLYHYMENOPHORA		5
58		-	CILIOPHORA	10	+
59	肉質鞭毛虫	真正太陽虫	HELIOZOA		5
60	不明プランクトン		微小鞭毛藻 (5 μm以下)	75	250
61			鞭毛藻	150	600
62			鞭毛虫	100	250

採取地		根戸下	手賀沼中央
採取年月日		2021.8.19	2021.8.19
総数		8332	9041
種類組成	藍藻	130	115
	クリプト藻	400	375
	渦鞭毛藻	5	0
	黄金色藻	0	5
	珪藻	6615	5795
	ユーグレナ藻	0	20
	緑藻	847	1620
	その他の植物性動物	225	850
		110	261
検査条件	固定条件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理	
	分離条件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5μmメッシュ）により10倍に濃縮した。	
	検鏡条件	定量試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。	
	検鏡者所属氏名	（一財）千葉県環境財団 業務部 五味真人	
備考			
<ul style="list-style-type: none"> ・計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。 ・細胞数の計数が困難である種については、群体数で計数してその結果に（ ）を付した。 ・定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。 ・藍藻綱 Aphanizomenon 属として従来分類されていた種のうち、トリコーム先端部が段階的に明瞭に細くなり尖って終わる種は Cuspidothrix 属に移されたため、本結果もこれに従った。 ・藍藻綱 Anabaena 属として従来分類されていた種のうち、ガス胞をもつ種（浮遊性種）は、異質細胞とアキネートの位置関係から Dolichospermum 属と Sphaerospermopsis 属に再分類されたため、本結果もこれに従うとともに、異質細胞とアキネートが形成されていないトリコームは Nostocaceae 科として計数した。 ・藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis, M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis, M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa, M. viridis, M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。 ・藍藻綱 Oscillatoria 属、Phormidium 属、Lyngbya 属として従来分類されていた種の一部は、光学顕微鏡下での確認が困難な特徴から Pseudanabaena 属等に再分類されたため、特徴的な種及び属以外は OSCILLATORIALES 目等の上位の分類群までの同定に留めた。 ・珪藻綱 Acanthoceras zachariasii は、従来シノニムである Atteya zachariasii とされていたが、本結果では Acanthoceras zachariasii を採用した。 ・珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。 ・珪藻綱 Asterionella formosa, Aulacoseira pusilla, Nitzschia acicularis は、それぞれ類似種を含めて計数した。 ・珪藻綱 Bacillaria paxillifer は従来シノニムである Bacillaria paradoxa とされていたが、本結果では Bacillaria paxillifer を採用した。 ・珪藻綱 Navicula 属は、類似の属を含めて計数した。 ・珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5μm、10μm、25μm）で区別して各々計数した。 ・珪藻綱 Rhizosolenia 属として従来分類されていた種のうち、淡水性の種は Urosolenia 属として扱うことが一般的であるため、本結果もこれに従った。 ・緑藻綱 Chodatella 属、Lagerheimia 属、Franceia 属は、針状突起の形態等から区別されるが、本結果では区別せずに Chodatella 属に一括して計数した。 ・緑藻綱 Crucigenia 属とCrucigeniella 属は、細胞の分裂様式から区別されるが、分裂様式が不明なものは Crucigenia 属に一括して計数した。 ・緑藻綱 Golenkinia 属と Golenkiniopsis 属は、形態から両属を識別することは困難であるため、Golenkinia 属に一括して計数した。 			

調査名：千葉県公共用水域水質監視調査（手賀沼）プランクトン同定計数結果

採取地点			根戸下	手賀沼中央	
採取年月日			2021.9.16	2021.9.16	
採取時刻			10:09	9:49	
全水深(m)			1.86	1.50	
採取水深(m)			0.50	0.50	
採水量(ml)			100	100	
No.	門	綱	出現種名		
1	藍色植物	藍藻	Aphanocapsa spp.	(50)	
2			Aphanothece spp.	(+)	(75)
3			Cyanodictyon spp.	(400)	(3750)
4			Merismopedia spp.	(+)	(100)
5			Microcystis aeruginosa		+
6			Microcystis wesenbergii		+
7			Pseudanabaena sp.	(25)	(+)
8			Pseudanabaenaceae	(+)	
9			CHROOCOCCALES	(825)	(1875)
10				OSCILLATORIALES	(50)
11	クリプト植物	クリプト藻	CRYPTOPHYCEAE	2250	3000
12	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Peridinium spp.	50	100
13	不等毛植物	ラフィド藻	RAPHIDOPHYCEAE	1	
14	不等毛植物	珪藻	Aulacoseira pusilla	+	+
15			Aulacoseira granulata	100	+
16			Melosira varians	+	
17			Navicula sp.	+	
18			Nitzschia acicularis	50	950
19			Nitzschia fruticosa	+	+
20			Nitzschia spp.	125	650
21			Pinnularia sp.	1	
22			Skeletonema potamos	17250	11000
23			Surirella spp.	+	1
24			Ulnaria japonica	+	
25			Thalassiosiraceae-5	4000	5500
26			Thalassiosiraceae-10	4250	2875
27		Thalassiosiraceae-25	+		
28	ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	Euglena spp.	+	+
29	緑色植物	緑藻	Actinastrum sp.	+	+
30			Ankistrodesmus sp.		+
31			Chlorogonium spp.	50	100
32			Coelastrum sp.		200
33			Dictyosphaerium spp.		+
34			Micractinium spp.		+
35			Pediastrum duplex		16
36			Pediastrum simplex	+	+
37			Scenedesmus bicaudatus		+
38			Scenedesmus spp.	200	400
39			Tetraedron sp.		+
40				CHLOROPHYCEAE	275
41	輪形動物	輪虫	Brachionus spp.	1	1
42			Synchaeta sp.		+
43			Trichocercidae	+	6
44			EUROTATOREA		3
45	繊毛虫	貧膜口	SESSILIDA		+
46		多膜口	Tintinnidium sp.		1
47			POLYHYMENOPHORA	50	100
48		-	CILIOPHORA	50	100
49	肉質鞭毛虫	真正太陽虫	HELIOZOA	+	+
50	不明プランクトン		微小鞭毛藻(5μm以下)	350	1000
51			鞭毛藻	750	450
52			鞭毛虫	100	850

採 取 地 点		根 戸 下	手 賀 沼 中 央
採 取 年 月 日		2021. 9. 16	2021. 9. 16
総 数		31153	33778
種 類 組 成	藍 藻	1250	5900
	ク リ プ ト 藻	2250	3000
	渦 鞭 毛 藻	50	100
	黄 金 色 藻	0	0
	珪 藻	25776	20976
	ユ ー グ レ ナ 藻	0	0
	緑 藻	525	1291
	そ の 他 の 植 物 性 動 物 性	1101	1450
検 査 条 件	固 定 条 件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1％） 定性試料：無処理	
	分 離 条 件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5μmメッシュ）により10倍に濃縮した。	
	検 鏡 条 件	定量試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。	
	検 鏡 者 所 属 氏 名	（一財）千葉県環境財団 業務部 五味真人	
備 考			
<ul style="list-style-type: none"> ・計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。 ・細胞数の計数が困難である種については、群体数で計数してその結果に（ ）を付した。 ・定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。 ・藍藻綱 Aphanizomenon 属として従来分類されていた種のうち、トリコーム先端部が段階的に明瞭に細くなり尖って終わる種は Cuspidothrix 属に移されたため、本結果もこれに従った。 ・藍藻綱 Anabaena 属として従来分類されていた種のうち、ガス胞をもつ種（浮遊性種）は、異質細胞とアキネートの位置関係から Dolichospermum 属と Sphaerospermopsis 属に再分類されたため、本結果もこれに従うとともに、異質細胞とアキネートが形成されていないトリコームは Nostocaceae 科として計数した。 ・藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis, M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis, M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa, M. viridis, M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。 ・藍藻綱 Oscillatoria 属、Phormidium 属、Lyngbya 属として従来分類されていた種の一部は、光学顕微鏡下での確認が困難な特徴から Pseudanabaena 属等に再分類されたため、特徴的な種及び属以外は OSCILLATORIALES 目等の上位の分類群までの同定に留めた。 ・珪藻綱 Acanthoceras zachariasii は、従来シノニムである Atteya zachariasii とされていたが、本結果では Acanthoceras zachariasii を採用した。 ・珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。 ・珪藻綱 Asterionella formosa, Aulacoseira pusilla, Nitzschia acicularis は、それぞれ類似種を含めて計数した。 ・珪藻綱 Bacillaria paxillifer は従来シノニムである Bacillaria paradoxa とされていたが、本結果では Bacillaria paxillifer を採用した。 ・珪藻綱 Navicula 属は、類似の属を含めて計数した。 ・珪藻綱 Pinnularia 属は、類似の属を含めて計数した。 ・珪藻綱 Rhizosolenia 属として従来分類されていた種のうち、淡水性の種は Urosolenia 属として扱うことが一般的であるため、本結果もこれに従った。 ・珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5μm、10μm、25μm）で区別して各々計数した。 ・緑藻綱 Chodatella 属、Lagerheimia 属、Franceia 属は、針状突起の形態等から区別されるが、本結果では区別せずに Chodatella 属に一括して計数した。 ・緑藻綱 Crucigenia 属とCrucigeniella 属は、細胞の分裂様式から区別されるが、分裂様式が不明なものは Crucigenia 属に一括して計数した。 ・緑藻綱 Golenkinia 属と Golenkiniopsis 属は、形態から両属を識別することは困難であるため、Golenkinia 属に一括して計数した。 			

調査名：千葉県公共用水域水質監視調査（手賀沼）プランクトン同定計数結果

採取地点			根戸下	手賀沼中央	
採取年月日			2021.9.27	2021.9.27	
採取時刻			13:45	13:23	
全水深 (m)			1.85	1.45	
採取水深 (m)			0.50	0.50	
採水量 (ml)			100	100	
No.	門	綱	出現種名		
1	藍色植物	藍藻	Aphanocapsa spp.	(10)	
2			Aphanothece spp.	(50)	
3			Cyanodictyon spp.	(370)	(3125)
4			Merismopedia spp.		(75)
5			Pseudanabaena sp.	(+)	
6			CHROOCOCCALES	(35)	(325)
7	クリプト植物	クリプト藻	CRYPTOPHYCEAE	170	1400
8	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Peridinium spp.	10	150
9	不等毛植物	珪藻	Aulacoseira ambigua		+
10			Aulacoseira pusilla	+	100
11			Aulacoseira granulata	+	+
12			Gyrosigma sp.		+
13			Navicula spp.	5	+
14			Nitzschia acicularis		50
15			Nitzschia fruticosa		+
16			Nitzschia spp.	10	275
17			Pinnularia sp.		1
18			Skeletonema potamos	8800	15500
19			Staurosirella berolinensis	+	
20			Surirella spp.	+	+
21			Ulnaria japonica		+
22			Ulnaria sp.	+	
23			Thalassiosiraceae-5	600	10750
24			Thalassiosiraceae-10	775	3000
25	ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	Euglena spp.	10	+
26	緑色植物	緑藻	Actinastrum sp.		+
27			Ankistrodesmus sp.		25
28			Chlorogonium spp.	20	50
29			Dictyosphaerium spp.		200
30			Micractinium sp.		+
31			Monoraphidium spp.	5	+
32			Pediastrum duplex		+
33			Pediastrum simplex	+	64
34			Polyedriopsis spinulosa	+	
35			Scenedesmus acuminatus		200
36			Scenedesmus spp.	70	150
37			CHLOROPHYCEAE	825	225
38			輪形動物	輪虫	Polyarthra sp.
39	Schizocerca diversicornis				+
40	Synchaeta sp.	+			
41	Trichocercidae				+
42	EUROTATOREA	+			3
43	絨毛虫	多膜口	Tintinnidium spp.		6
44			POLYHYMENOPHORA	+	+
45			CILIOPHORA	5	75
46	肉質鞭毛虫	真正太陽虫	HELIOZOA		+
47	不明プランクトン	-	微小鞭毛藻 (5 μm以下)	225	450
48			鞭毛藻	150	650
49			鞭毛虫	50	300

採取地点		根戸下	手賀沼中央
採取年月日		2021. 9. 27	2021. 9. 27
総数		12145	37224
種類組成	藍藻	415	3600
	クリプト藻	170	1400
	渦鞭毛藻	10	150
	黄金色藻	0	0
	珪藻	10190	29676
	ユーグレナ藻	10	0
	緑藻	920	914
	その他の植物性動物性	375	1100
	55	384	
検査条件	固定条件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理	
	分離条件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5μmメッシュ）により10倍に濃縮した。	
	検鏡条件	定量試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。	
	検鏡者所属氏名	（一財）千葉県環境財団 業務部 五味真人	
備考			
<ul style="list-style-type: none"> ・計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。 ・細胞数の計数が困難である種については、群体数で計数してその結果に（ ）を付した。 ・定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。 ・藍藻綱 Aphanizomenon 属として従来分類されていた種のうち、トリコーム先端部が段階的に明瞭に細くなり尖って終わる種は Cuspidothrix 属に移されたため、本結果もこれに従った。 ・藍藻綱 Anabaena 属として従来分類されていた種のうち、ガス胞をもつ種（浮遊性種）は、異質細胞とアキネートの位置関係から Dolichospermum 属と Sphaerospermopsis 属に再分類されたため、本結果もこれに従うとともに、異質細胞とアキネートが形成されていないトリコームは Nostocaceae 科として計数した。 ・藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis, M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis, M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa, M. viridis, M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。 ・藍藻綱 Oscillatoria 属、Phormidium 属、Lyngbya 属として従来分類されていた種の一部は、光学顕微鏡下での確認が困難な特徴から Pseudanabaena 属等に再分類されたため、特徴的な種及び属以外は OSCILLATORIALES 目等の上位の分類群までの同定に留めた。 ・珪藻綱 Acanthoceras zachariasii は、従来シノニムである Atteya zachariasii とされていたが、本結果では Acanthoceras zachariasii を採用した。 ・珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。 ・珪藻綱 Asterionella formosa, Aulacoseira pusilla, Nitzschia acicularis は、それぞれ類似種を含めて計数した。 ・珪藻綱 Bacillaria paxillifer は従来シノニムである Bacillaria paradoxa とされていたが、本結果では Bacillaria paxillifer を採用した。 ・珪藻綱 Navicula 属は、類似の属を含めて計数した。 ・珪藻綱 Pinnularia 属は、類似の属を含めて計数した。 ・珪藻綱 Rhizosolenia 属として従来分類されていた種のうち、淡水性の種は Urosolenia 属として扱うことが一般的であるため、本結果もこれに従った。 ・珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5μm、10μm、25μm）で区別して各々計数した。 ・緑藻綱 Chodatella 属、Lagerheimia 属、Franceia 属は、針状突起の形態等から区別されるが、本結果では区別せずに Chodatella 属に一括して計数した。 ・緑藻綱 Crucigenia 属とCrucigeniella 属は、細胞の分裂様式から区別されるが、分裂様式が不明なものは Crucigenia 属に一括して計数した。 ・緑藻綱 Golenkinia 属と Golenkiniopsis 属は、形態から両属を識別することは困難であるため、Golenkinia 属に一括して計数した。 			

調査名：千葉県公共用水域水質監視調査（手賀沼）プランクトン同定計数結果

採取地点			根戸下	手賀沼中央	
採取年月日			2021.10.15	2021.10.15	
採取時刻			10:18	9:52	
全水深(m)			1.79	1.41	
採取水深(m)			0.50	0.50	
採水量(ml)			100	100	
No.	門	綱	出現種名		
1	藍色植物	藍藻	Aphanocapsa sp.	(25)	
2			Aphanothece sp.	(+)	
3			Cyanodictyon spp.	(140)	(3000)
4			Merismopedia spp.	(5)	(125)
5			Pseudanabaena sp.	(+)	
6			Pseudanabaenaceae	(+)	
7			CHROOCOCCALES	(10)	(50)
8			OSCILLATORIALES	(5)	(25)
9	クリプト植物	クリプト藻	CRYPTOPHYCEAE	240	1150
10	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Peridinium spp.	5	+
11	不等毛植物	珪藻	Aulacoseira ambigua	+	
12			Aulacoseira granulata	+	+
13			Gyrosigma sp.		1
14			Nitzschia acicularis	5	25
15			Nitzschia fruticosa	20	+
16			Nitzschia spp.	30	550
17			Skeletonema potamos	7350	32500
18			Surirella sp.		+
19			Ulnaria sp.		+
20			Urosolenia sp.		+
21			Thalassiosiraceae-5	280	6250
22			Thalassiosiraceae-10	220	2750
23			緑色植物	緑藻	Actinastrum sp.
24	Ankistrodesmus spp.	+			75
25	Chlorogonium spp.	10			+
26	Coelastrum spp.	+			+
27	Dictyosphaerium spp.	+			+
28	Golenkinia spp.	10			
29	Micractinium sp.	+			
30	Monoraphidium spp.	25			50
31	Oocystis sp.	+			
32	Pediastrum duplex				8
33	Pediastrum simplex	32			+
34	Pediastrum tetras				8
35	Scenedesmus acuminatus	+			
36	Scenedesmus spp.	30			50
37	Schroederia sp.	+			
38	CHLOROPHYCEAE	210			275
39	輪形動物	輪虫	Brachionus sp.		1
40			Synchaeta sp.		+
41			Trichocercidae		1
42			EUROTATOREA		+
43	絨毛虫	貧膜口	SESSILIDA	+	3
44		多膜口	Tintinnidium spp.		4
45			POLYHYMENOPHORA	+	25
46			CILIOPHORA	10	100
47	肉質鞭毛虫	真正太陽虫	HELIOZOA	+	+
48	不明プランクトン		微小鞭毛藻(5μm以下)	150	400
49			鞭毛藻	400	200
50			鞭毛虫	400	750

採取地	根戸下	手賀沼中央	
採取年月日	2021.10.15	2021.10.15	
総数	9587	48401	
種類組成	藍藻	160	3225
	クリプト藻	240	1150
	渦鞭毛藻	5	0
	黄金色藻	0	0
	珪藻	7905	42076
	ユーグレナ藻	0	0
	緑藻	317	466
	その他の植物性動物	550	600
検査条件	410	884	
固定条件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理		
分離条件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5μmメッシュ）により10倍に濃縮した。		
検鏡条件	定量試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。		
検鏡者所属氏名	（一財）千葉県環境財団 業務部 五味真人		
備考	<ul style="list-style-type: none"> 計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。 細胞数の計数が困難である種については、群体数で計数してその結果に（ ）を付した。 定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。 藍藻綱 Aphanizomenon 属として従来分類されていた種のうち、トリコーム先端部が段階的に明瞭に細くなり尖って終わる種は Cuspidothrix 属に移されたため、本結果もこれに従った。 藍藻綱 Anabaena 属として従来分類されていた種のうち、ガス胞をもつ種（浮遊性種）は、異質細胞とアキネートの位置関係から Dolichospermum 属と Sphaerospermopsis 属に再分類されたため、本結果もこれに従うとともに、異質細胞とアキネートが形成されていないトリコームは Nostocaceae 科として計数した。 藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis、M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis、M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa、M. viridis、M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。 藍藻綱 Oscillatoria 属、Phormidium 属、Lyngbya 属として従来分類されていた種の一部は、光学顕微鏡下での確認が困難な特徴から Pseudanabaena 属等に再分類されたため、特徴的な種及び属以外は OSCILLATORIALES 目等の上位の分類群までの同定に留めた。 珪藻綱 Acanthoceras zachariasii は、従来シノニムである Atteya zachariasii とされていたが、本結果では Acanthoceras zachariasii を採用した。 珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。 珪藻綱 Asterionella formosa、Aulacoseira pusilla、Nitzschia acicularis は、それぞれ類似種を含めて計数した。 珪藻綱 Bacillaria paxillifer は従来シノニムである Bacillaria paradoxa とされていたが、本結果では Bacillaria paxillifer を採用した。 珪藻綱 Navicula 属は、類似の属を含めて計数した。 珪藻綱 Pinnularia 属は、類似の属を含めて計数した。 珪藻綱 Rhizosolenia 属として従来分類されていた種のうち、淡水性の種は Urosolenia 属として扱うことが一般的であるため、本結果もこれに従った。 珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5μm、10μm、25μm）で区別して各々計数した。 緑藻綱 Chodatella 属、Lagerheimia 属、Franceia 属は、針状突起の形態等から区別されるが、本結果では区別せずに Chodatella 属に一括して計数した。 緑藻綱 Crucigenia 属とCrucigeniella 属は、細胞の分裂様式から区別されるが、分裂様式が不明なものは Crucigenia 属に一括して計数した。 緑藻綱 Golenkinia 属と Golenkiniopsis 属は、形態から両属を識別することは困難であるため、Golenkinia 属に一括して計数した。 		

調査名：千葉県公共用水域水質監視調査（手賀沼）プランクトン同定計数結果

採取地		根戸下	手賀沼中央		
採取年月日		2021. 10. 25	2021. 10. 25		
採取時刻		10:23	9:55		
全水深 (m)		1.92	1.42		
採取水深 (m)		0.50	0.50		
採水量 (ml)		100	100		
No.	門	網	出現種名		
1	藍色植物	藍藻	Aphanothece sp.		(5)
2			Cyanodictyon spp.	(30)	(50)
3			CHROOCOCCALES		(5)
4			OSCILLATORIALES	(5)	
5	クリプト植物	クリプト藻	CRYPTOPHYCEAE	800	1300
6	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Gymnodinium sp.	+	
7			Peridinium spp.	10	10
8	不等毛植物	ラフィド藻 珪藻	RAPHIDOPHYCEAE		+
9			Aulacoseira pusilla	+	+
10			Nitzschia acicularis	5	15
11			Nitzschia fruticosa		+
12			Nitzschia spp.	10	45
13			Skeletonema potamos	33650	61200
14			Staurosirella berolinensis		+
15			Thalassiosiraceae-5	2300	1700
16			Thalassiosiraceae-10	725	1250
17	ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	Euglena sp.		5
18	緑色植物	緑藻	Chlorogonium spp.	10	40
19			Coelastrum sp.		+
20			Dichotomococcus sp.		+
21			Dictyosphaerium spp.	+	+
22			Monoraphidium sp.		5
23			Oocystis sp.		+
24			Pediastrum simplex		+
25			Scenedesmus spp.	20	110
26			CHLOROPHYCEAE	70	230
27			輪形動物	輪虫	Synchaeta spp.
28	絨毛虫	多膜口	Tintinnidium sp.		+
29			POLYHYMENOPHORA	5	10
30			CILIOPHORA	+	5
31	肉質鞭毛虫	真正太陽虫	HELIOZOA		10
32	不明プランクトン		微小鞭毛藻 (5 μm以下)	250	600
33			鞭毛藻	250	650
34			鞭毛虫	100	150
総数				38240	67395
種類組成		藍藻	35	60	
		クリプト藻	800	1300	
		渦鞭毛藻	10	10	
		黄金色藻	0	0	
		珪藻	36690	64210	
		ユーグレナ藻	0	5	
		緑藻	100	385	
		その他の植物性	500	1250	
		動物性	105	175	
検査条件		固定条件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理		
		分離条件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5 μmメッシュ）により10倍に濃縮した。		
		検鏡条件	定量試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。		
		検鏡者所属氏名	（一財）千葉県環境財団 業務部 五味真人		
備考					
<ul style="list-style-type: none"> 計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。 細胞数の計数が困難である種については、群体数で計数してその結果に（ ）を付した。 定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。 藍藻綱 Aphanizomenon 属として従来分類されていた種のうち、トリコーム先端部が段階的に明瞭に細くなり尖って終わる種は Cuspidothrix 属に移されたため、本結果もこれに従った。 藍藻綱 Anabaena 属として従来分類されていた種のうち、ガス胞をもつ種（浮遊性種）は、異質細胞とアキネートの位置関係から Dolichospermum 属と Sphaerospermopsis 属に再分類されたため、本結果もこれに従うとともに、異質細胞とアキネートが形成されていないトリコームは Nostocaceae 科として計数した。 藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis、M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis、M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa、M. viridis、M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。 藍藻綱 Oscillatoria 属、Phormidium 属、Lyngbya 属として従来分類されていた種の一部は、光学顕微鏡下での確認が困難な特徴から Pseudanabaena 属等に再分類されたため、特徴的な種及び属以外は OSCILLATORIALES 目等の上位の分類群までの同定に留めた。 珪藻綱 Acanthoceras zachariasii は、従来シノニムである Atteya zachariasii とされていたが、本結果では Acanthoceras zachariasii を採用した。 珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。 珪藻綱 Asterionella formosa、Aulacoseira pusilla、Nitzschia acicularis は、それぞれ類似種を含めて計数した。 珪藻綱 Bacillaria paxillifer は従来シノニムである Bacillaria paradoxa とされていたが、本結果では Bacillaria paxillifer を採用した。 珪藻綱 Navicula 属は、類似の属を含めて計数した。 珪藻綱 Pinnularia 属は、類似の属を含めて計数した。 珪藻綱 Rhizosolenia 属として従来分類されていた種のうち、淡水性の種は Urosolenia 属として扱うことが一般的であるため、本結果もこれに従った。 珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5 μm、10 μm、25 μm）で区別して各々計数した。 緑藻綱 Chodatella 属、Lagerheimia 属、Franceia 属は、針状突起の形態等から区別されるが、本結果では区別せずに Chodatella 属に一括して計数した。 緑藻綱 Crucigenia 属とCrucigeniella 属は、細胞の分裂様式から区別されるが、分裂様式が不明なものは Crucigenia 属に一括して計数した。 緑藻綱 Golenkinia 属と Golenkiniopsis 属は、形態から両属を識別することは困難であるため、Golenkinia 属に一括して計数した。 					

調査名：千葉県公共用水域水質監視調査（手賀沼）プランクトン同定計数結果

採取地点			根戸下	手賀沼中央	
採取年月日			2021.11.2	2021.11.2	
採取時刻			10:36	10:05	
全水深(m)			1.81	1.35	
採取水深(m)			0.50	0.50	
採水量(ml)			100	100	
No.	門	綱	出現種名		
1	藍色植物	藍藻	Cyanodictyon spp.	(15)	(20)
2			Merismopedia spp.	(10)	
3			Microcystis aeruginosa	+	+
4			CHROCOCCALES	(+)	
5			OSCILLATORIALES	(20)	(+)
6	クリプト植物	クリプト藻	CRYPTOPHYCEAE	850	850
7	不等毛植物	珪藻	Aulacoseira pusilla	20	25
8			Gyrosigma sp.	+	
9			Navicula spp.	+	+
10			Nitzschia acicularis	5	10
11			Nitzschia fruticosa		40
12			Nitzschia spp.	15	25
13			Skeletonema potamos	54450	151000
14			Ulnaria japonica		+
15			Thalassiosiraceae-5	4100	6750
16			Thalassiosiraceae-10	1250	2100
17	ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	Euglena sp.		+
18	緑色植物	緑藻	Chlorogonium spp.	15	40
19			Coelastrum sp.	40	
20			Dictyosphaerium spp.		80
21			Golenkinia sp.		+
22			Monoraphidium spp.	5	5
23			Pediastrum simplex	16	
24			Scenedesmus acuminatus		20
25			Scenedesmus spp.	+	20
26			CHLOROPHYCEAE	45	30
27			絨毛虫	多膜口	POLYHYMENOPHORA
28		-	CILIOPHORA	10	10
29	肉質鞭毛虫	真正太陽虫	HELIOZOA		10
30	不明プランクトン		微小鞭毛藻(5μm以下)	100	175
31			鞭毛藻	175	200
32			鞭毛虫	50	200
総数				61196	161630
種類組成			藍藻	45	20
			クリプト藻	850	850
			渦鞭毛藻	0	0
			黄金色藻	0	0
			珪藻	59840	159950
			ユーグレナ藻	0	0
			緑藻	121	195
			その他の植物性動物性	275	375
検査条件			固定条件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理	
			分離条件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5μmメッシュ）により10倍に濃縮した。	
			検鏡条件	定量試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。	
			検鏡者所属氏名	（一財）千葉県環境財団 業務部 五味真人	
備考					
<ul style="list-style-type: none"> 計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。 細胞数の計数が困難である種については、群体数で計数してその結果に（ ）を付した。 定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。 藍藻綱 Aphanizomenon 属として従来分類されていた種のうち、トリコーム先端部が段階的に明瞭に細くなり尖って終わる種は Cuspidothrix 属に移されたため、本結果もこれに従った。 藍藻綱 Anabaena 属として従来分類されていた種のうち、ガス胞をもつ種（浮遊性種）は、異質細胞とアキネートの位置関係から Dolichospermum 属と Sphaerospermopsis 属に再分類されたため、本結果もこれに従うとともに、異質細胞とアキネートが形成されていないトリコームは Nostocaceae 科として計数した。 藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis, M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis, M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa, M. viridis, M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。 藍藻綱 Oscillatoria 属、Phormidium 属、Lyngbya 属として従来分類されていた種の一部は、光学顕微鏡下での確認が困難な特徴から Pseudanabaena 属等に再分類されたため、特徴的な種及び属以外は OSCILLATORIALES 目等の上位の分類群までの同定に留めた。 珪藻綱 Acanthoceras zachariasii は、従来シノニムである Atteya zachariasii とされていたが、本結果では Acanthoceras zachariasii を採用した。 珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。 珪藻綱 Asterionella formosa, Aulacoseira pusilla, Nitzschia acicularis は、それぞれ類似種を含めて計数した。 珪藻綱 Bacillaria paxillifer は従来シノニムである Bacillaria paradoxa とされていたが、本結果では Bacillaria paxillifer を採用した。 珪藻綱 Navicula 属は、類似の属を含めて計数した。 珪藻綱 Pinnularia 属は、類似の属を含めて計数した。 珪藻綱 Rhizosolenia 属として従来分類されていた種のうち、淡水性の種は Urosolenia 属として扱うことが一般的であるため、本結果もこれに従った。 珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5μm、10μm、25μm）で区別して各々計数した。 緑藻綱 Chodatella 属、Lagerheimia 属、Franceia 属は、針状突起の形態等から区別されるが、本結果では区別せずに Chodatella 属に一括して計数した。 緑藻綱 Crucigenia 属とCrucigeniella 属は、細胞の分裂様式から区別されるが、分裂様式が不明なものは Crucigenia 属に一括して計数した。 緑藻綱 Golenkinia 属と Golenkiniopsis 属は、形態から両属を識別することは困難であるため、Golenkinia 属に一括して計数した。 					

調査名：千葉県公共用水域水質監視調査（手賀沼）プランクトン同定計数結果

採取地点		根戸下	手賀沼中央				
採取年月日		2021.11.16	2021.11.16				
採取時刻		13:50	13:27				
全水深(m)		1.85	1.35				
採取水深(m)		0.50	0.50				
採水量(ml)		100	100				
No.	門	綱	出現種名				
1	藍色植物	藍藻	Microcystis aeruginosa		+		
2			Pseudanabaenaceae	(+)			
3			CHROOCOCCALES		(10)		
4			OSCILLATORIALES	(5)	(10)		
5	クリプト植物	クリプト藻	CRYPTOPHYCEAE	80	1200		
6	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Peridinium spp.		30		
7	不等毛植物	珪藻	Mallomonas sp.	+			
8			Synura sp.	+			
9			Melosira varians	+			
10			Navicula sp.		+		
11			Nitzschia acicularis	10	40		
12			Nitzschia fruticosa		40		
13			Nitzschia spp.	25	50		
14			Skeletonema potamos	13500	27100		
15			Ulnaria japonica	5			
16			Thalassiosiraceae-5	1000	2600		
17			Thalassiosiraceae-10	155	600		
18			ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	Trachelomonas sp.		10
19			緑色植物	緑藻	Chlorogonium spp.	5	70
20					Coelastrum spp.	+	+
21					Dictyosphaerium sp.		+
22					Micractinium sp.	20	
23					Monoraphidium spp.		30
24	Pandorina morum	+					
25	Pediastrum duplex	+					
26	Pediastrum simplex	+					
27	Scenedesmus acuminatus				+		
28	Scenedesmus spp.	20			40		
29	CHLOROPHYCEAE	40			90		
30	輪形動物	輪虫	EUROTATOREA		1		
31	絨毛虫	多膜口	Tintinnidium sp.		+		
32			POLYHYMENOPHORA		10		
33			—	CILIOPHORA	5	20	
34	肉質鞭毛虫	真正太陽虫	HELIOZOA	5			
35	不明プランクトン		微小鞭毛藻(5μm以下)	50	400		
36			鞭毛藻	50	500		
37			鞭毛虫	25	450		
総		数		15000	33301		
種類組成		藍藻		5	20		
		クリプト藻		80	1200		
		渦鞭毛藻		0	30		
		黄金色藻		0	0		
		珪藻		14695	30430		
		ユーグレナ藻		0	10		
		緑藻		85	230		
		その他の植物性動物性		100	900		
		35	481				
検査条件		固定条件		定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理			
		分離条件		定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5μmメッシュ）により10倍に濃縮した。			
		検鏡条件		定量試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。			
		検鏡者所属氏名		（一財）千葉県環境財団 業務部 五味真人			
備考		<ul style="list-style-type: none"> 計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。 細胞数の計数が困難である種については、群数で計数してその結果に（ ）を付した。 定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。 藍藻綱 Aphanizomenon 属として従来分類されていた種のうち、トリコーム先端部が段階的に明瞭に細くなり尖って終わる種は Cuspidothrix 属に移されたため、本結果もこれに従った。 藍藻綱 Anabaena 属として従来分類されていた種のうち、ガス胞をもつ種（浮遊性種）は、異質細胞とアキネートの位置関係から Dolichospermum 属と Sphaerospermopsis 属に再分類されたため、本結果もこれに従うとともに、異質細胞とアキネートが形成されていないトリコームは Nostocaceae 科として計数した。 藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis、M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis、M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa、M. viridis、M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。 藍藻綱 Oscillatoria 属、Phormidium 属、Lyngbya 属として従来分類されていた種の一部は、光学顕微鏡下での確認が困難な特徴から Pseudanabaena 属等に再分類されたため、特徴的な種及び属以外は OSCILLATORIALES 目等の上位の分類群までの同定に留めた。 珪藻綱 Acanthoceras zachariasii は、従来シノニムである Atteya zachariasii とされていたが、本結果では Acanthoceras zachariasii を採用した。 珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。 珪藻綱 Asterionella formosa、Aulacoseira pusilla、Nitzschia acicularis は、それぞれ類似種を含めて計数した。 珪藻綱 Bacillaria paxillifer は従来シノニムである Bacillaria paradoxa とされていたが、本結果では Bacillaria paxillifer を採用した。 珪藻綱 Navicula 属は、類似の属を含めて計数した。 珪藻綱 Pinnularia 属は、類似の属を含めて計数した。 珪藻綱 Rhizosolenia 属として従来分類されていた種のうち、淡水性の種は Urosolenia 属として扱うことが一般的であるため、本結果もこれに従った。 珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5μm、10μm、25μm）で区別して各々計数した。 緑藻綱 Chodatella 属、Lagerheimia 属、Franceia 属は、針状突起の形態等から区別されるが、本結果では区別せずに Chodatella 属に一括して計数した。 緑藻綱 Crucigenia 属と Crucigeniella 属は、細胞の分裂様式から区別されるが、分裂様式が不明なものは Crucigenia 属に一括して計数した。 緑藻綱 Golenkinia 属と Golenkiniopsis 属は、形態から両属を識別することは困難であるため、Golenkinia 属に一括して計数した。 					

調査名：千葉県公共用水域水質監視調査（手賀沼）プランクトン同定計数結果

採取地点			根戸下	手賀沼中央
採取年月日			2021.12.16	2021.12.16
採取時刻			10:41	9:55
全水深(m)			1.75	1.35
採取水深(m)			0.50	0.50
採水量(ml)			100	100
No.	門	綱	出現種名	
1	藍色植物	藍藻	CHROOCOCCELES	(5)
2			OSCILLATORIALES	(+)
3	クリプト植物	クリプト藻	CRYPTOPHYCEAE	180
4	不等毛植物	珪藻	Aulacoseira pusilla	+
5			Aulacoseira granulata	+
6			Nitzschia acicularis	5
7			Nitzschia fruticosa	+
8			Nitzschia spp.	10
9			Skeletonema potamos	21850
10			Surirella sp.	+
11			Ulnaria japonica	10
12			Thalassiosiraceae-5	500
13			Thalassiosiraceae-10	200
14			Thalassiosiraceae-25	
15	ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	Euglena sp.	5
16	緑色植物	緑藻	Dictyosphaerium sp.	+
17			Micractinium sp.	20
18			Monoraphidium sp.	5
19			Scenedesmus spp.	20
20			CHLOROPHYCEAE	35
21	輪形動物	輪虫	EUROTATOREA	+
22	繊毛虫	多膜口	POLYHYMENOPHORA	10
23		-	CILIOPHORA	5
24	肉質鞭毛虫	真正太陽虫	HELIOZOA	+
25	不明プランクトン		微小鞭毛藻(5μm以下)	75
26			鞭毛藻	50
27			鞭毛虫	100
総数			23025	69965
種類組成				
			藍藻	0
			クリプト藻	180
			渦鞭毛藻	0
			黄金色藻	0
			珪藻	22565
			ユーグレナ藻	5
			緑藻	35
			その他の植物性	125
			動物性	115
検査条件			固定条件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理
			分離条件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5μmメッシュ）により10倍に濃縮した。
			検鏡条件	定量試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。
			検鏡者所属氏名	（一財）千葉県環境財団 業務部 五味真人
備考				
<ul style="list-style-type: none"> 計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。 細胞数の計数が困難である種については、群体数で計数してその結果に（ ）を付した。 定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。 藍藻綱 Aphanizomenon 属として従来分類されていた種のうち、トリコーム先端部が段階的に明瞭に細くなり尖って終わる種は Cuspidothrix 属に移されたため、本結果もこれに従った。 藍藻綱 Anabaena 属として従来分類されていた種のうち、ガス胞をもつ種（浮遊性種）は、異質細胞とアキネートの位置関係から Dolichospermum 属と Sphaerospermopsis 属に再分類されたため、本結果もこれに従うとともに、異質細胞とアキネートが形成されていないトリコームは Nostocaceae 科として計数した。 藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis、M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis、M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa、M. viridis、M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。 藍藻綱 Oscillatoria 属、Phormidium 属、Lyngbya 属として従来分類されていた種の一部は、光学顕微鏡下での確認が困難な特徴から Pseudanabaena 属等に再分類されたため、特徴的な種及び属以外は OSCILLATORIALES 目等の上位の分類群までの同定に留めた。 珪藻綱 Acanthoceras zachariasii は、従来シノニムである Atteya zachariasii とされていたが、本結果では Acanthoceras zachariasii を採用した。 珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。 珪藻綱 Asterionella formosa、Aulacoseira pusilla、Nitzschia acicularis は、それぞれ類似種を含めて計数した。 珪藻綱 Bacillaria paxillifer は従来シノニムである Bacillaria paradoxa とされていたが、本結果では Bacillaria paxillifer を採用した。 珪藻綱 Navicula 属は、類似の属を含めて計数した。 珪藻綱 Pinnularia 属は、類似の属を含めて計数した。 珪藻綱 Rhizosolenia 属として従来分類されていた種のうち、淡水性の種は Urosolenia 属として扱うことが一般的であるため、本結果もこれに従った。 珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5μm、10μm、25μm）で区別して各々計数した。 緑藻綱 Chodatella 属、Lagerheimia 属、Franceia 属は、針状突起の形態等から区別されるが、本結果では区別せずに Chodatella 属に一括して計数した。 緑藻綱 Crucigenia 属とCrucigeniella 属は、細胞の分裂様式から区別されるが、分裂様式が不明なものは Crucigenia 属に一括して計数した。 緑藻綱 Golenkinia 属と Golenkiniopsis 属は、形態から両属を識別することは困難であるため、Golenkinia 属に一括して計数した。 				

調査名：千葉県公共用水域水質監視調査（手賀沼）プランクトン同定計数結果

採取地点			根戸下	手賀沼中央
採取年月日			2021.12.23	2021.12.23
採取時刻			10:09	11:12
全水深(m)			1.90	1.42
採取水深(m)			0.50	0.50
採水量(ml)			100	100
No.	門	綱	出現種名	
1	藍色植物	藍藻	Merismopedia sp.	(+)
2			OSCILLATORIALES	(5)
3	クリプト植物	クリプト藻	CRYPTOPHYCEAE	200
4	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Gymnodinium sp.	+
5	不等毛植物	黄金色藻	CHRYSOPHYCEAE	10
6		珪藻	Asterionella formosa	+
7			Aulacoseira ambigua	45
8			Aulacoseira pusilla	+
9			Bacillaria paxillifer	18
10			Nitzschia acicularis	5
11			Nitzschia fruticosa	+
12			Skeletonema potamos	6700
13			Ulnaria japonica	10
14			Thalassiosiraceae-5	1450
15			Thalassiosiraceae-10	650
16	緑色植物	緑藻	Ankistrodesmus sp.	+
17			Dictyosphaerium spp.	20
18			Monoraphidium spp.	5
19			Scenedesmus spp.	+
20			Staurastrum sp.	+
21			Tetrastrum elegans	+
22			Tetrastrum spp.	60
23			CHLOROPHYCEAE	25
24	繊毛虫	多膜口	POLYHYMENOPHORA	30
25			CILIOPHORA	+
26	不明プランクトン		微小鞭毛藻(5μm以下)	50
27			鞭毛藻	25
28			鞭毛虫	100
総数			9318	51355
種類組成			藍藻	5
			クリプト藻	200
			渦鞭毛藻	0
			黄金色藻	10
			珪藻	8878
			ユーグレナ藻	0
			緑藻	50
			その他の植物性動物性	75
				165
検査条件			固定条件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理
			分離条件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5μmメッシュ）により10倍に濃縮した。
			検鏡条件	定量試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。
			検鏡者所属氏名	（一財）千葉県環境財団 業務部 五味真人
備考				
<ul style="list-style-type: none"> 計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。 細胞数の計数が困難である種については、群体数で計数してその結果に（ ）を付した。 定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。 藍藻綱 Aphanizomenon 属として従来分類されていた種のうち、トリコーム先端部が段階的に明瞭に細くなり尖って終わる種は Cuspidothrix 属に移されたため、本結果もこれに従った。 藍藻綱 Anabaena 属として従来分類されていた種のうち、ガス胞をもつ種（浮遊性種）は、異質細胞とアキネートの位置関係から Dolichospermum 属と Sphaerospermopsis 属に再分類されたため、本結果もこれに従うとともに、異質細胞とアキネートが形成されていないトリコームは Nostocaceae 科として計数した。 藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis, M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis, M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa, M. viridis, M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。 藍藻綱 Oscillatoria 属、Phormidium 属、Lyngbya 属として従来分類されていた種の一部は、光学顕微鏡下での確認が困難な特徴から Pseudanabaena 属等に再分類されたため、特徴的な種及び属以外は OSCILLATORIALES 目等の上位の分類群までの同定に留めた。 珪藻綱 Acanthoceras zachariasii は、従来シノニムである Atteya zachariasii とされていたが、本結果では Acanthoceras zachariasii を採用した。 珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。 珪藻綱 Asterionella formosa, Aulacoseira pusilla, Nitzschia acicularis は、それぞれ類似種を含めて計数した。 珪藻綱 Bacillaria paxillifer は従来シノニムである Bacillaria paradoxa とされていたが、本結果では Bacillaria paxillifer を採用した。 珪藻綱 Navicula 属は、類似の属を含めて計数した。 珪藻綱 Pinnularia 属は、類似の属を含めて計数した。 珪藻綱 Rhizosolenia 属として従来分類されていた種のうち、淡水性の種は Urosolenia 属として扱うことが一般的であるため、本結果もこれに従った。 珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5μm、10μm、25μm）で区別して各々計数した。 緑藻綱 Chodatella 属、Lagerheimia 属、Franceia 属は、針状突起の形態等から区別されるが、本結果では区別せずに Chodatella 属に一括して計数した。 緑藻綱 Crucigenia 属とCrucigeniella 属は、細胞の分裂様式から区別されるが、分裂様式が不明なものは Crucigenia 属に一括して計数した。 緑藻綱 Golenkinia 属と Golenkiniopsis 属は、形態から両属を識別することは困難であるため、Golenkinia 属に一括して計数した。 				

調査名：千葉県公共用水域水質監視調査（手賀沼）プランクトン同定計数結果

採取地点		根戸下		手賀沼中央			
採取年月日		2022. 1. 17		2022. 1. 17			
採取時刻		10:28		9:56			
全水深 (m)		1.80		1.30			
採取水深 (m)		0.50		0.50			
採水量 (ml)		100		100			
No.	門	綱	出現種名				
1	藍色植物	藍藻	Merismopedia sp.	(5)			
2			Microcystis aeruginosa		+		
3			Pseudanabaena spp.	(10)			
4			OSCILLATORIALES	(+)			
5	クリプト植物	クリプト藻	CRYPTOPHYCEAE	55	70		
6	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Gymnodinium sp.	+			
7	不等毛植物	黄金色藻	Mallomonas spp.	+	10		
8			Synura spp.	12	+		
9			CHRYSTOPHYCEAE		+		
10			Asterionella formosa	+	80		
11			Aulacoseira ambigua	+	+		
12			Aulacoseira pusilla	+	20		
13			Nitzschia acicularis	65	105		
14			Nitzschia fruticosa	+			
15			Nitzschia spp.	5	+		
16			Skeletonema potamos	200	860		
17			Staurosirella berolinensis		+		
18			Ulnaria japonica	20	95		
19	Ulnaria sp.		+				
20	Thalassiosiraceae-5	700	2250				
21	Thalassiosiraceae-10	4000	22250				
22	ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	Euglena sp.	+			
23	緑色植物	緑藻	Chlorogonium sp.		5		
24			Dictyosphaerium spp.	+	80		
25			Micractinium spp.	20	110		
26			Monoraphidium spp.	45	50		
27			Oocystis spp.	+	20		
28			Pediastrum boryanum		+		
29			Scenedesmus spp.	10	60		
30			Tetrastrum elegans	60			
31			Tetrastrum sp.		20		
32			CHLOROPHYCEAE	370	250		
33			繊毛虫	多膜口	Tintinnidium sp.		1
34					POLYHYMENOPHORA	5	15
35					-	CILIOPHORA	5
36			不明プランクトン		微小鞭毛藻 (5 μm以下)	350	100
37					鞭毛藻	200	600
38	鞭毛虫	100			250		
総数				6237	27301		
種類組成		藍藻	15	0			
		クリプト藻	55	70			
		渦鞭毛藻	0	0			
		黄金色藻	12	10			
		珪藻	4990	25660			
		ユーグレナ藻	0	0			
		緑藻	505	595			
		その他の植物性動物性	550	700			
			110	266			
検査条件		固定条件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理				
		分離条件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5 μmメッシュ）により10倍に濃縮した。				
		検鏡条件	定量試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。				
		検鏡者所属氏名	（一財）千葉県環境財団 業務部 五味真人				
備考							
<ul style="list-style-type: none"> 計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。 細胞数の計数が困難である種については、群体数で計数してその結果に（ ）を付した。 定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。 藍藻綱 Aphanizomenon 属として従来分類されていた種のうち、トリコーム先端部が段階的に明瞭に細くなり尖って終わる種は Cuspidothrix 属に移されたため、本結果もこれに従った。 藍藻綱 Anabaena 属として従来分類されていた種のうち、ガス胞をもつ種（浮遊性種）は、異質細胞とアキネートの位置関係から Dolichospermum 属と Sphaerospermopsis 属に再分類されたため、本結果もこれに従うとともに、異質細胞とアキネートが形成されていないトリコームは Nostocaceae 科として計数した。 藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis、M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis、M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa、M. viridis、M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。 藍藻綱 Oscillatoria 属、Phormidium 属、Lyngbya 属として従来分類されていた種の一部は、光学顕微鏡下での確認が困難な特徴から Pseudanabaena 属等に再分類されたため、特徴的な種及び属以外は OSCILLATORIALES 目等の上位の分類群までの同定に留めた。 珪藻綱 Acanthoceras zachariasii は、従来シノニムである Atteya zachariasii とされていたが、本結果では Acanthoceras zachariasii を採用した。 珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。 珪藻綱 Asterionella formosa、Aulacoseira pusilla、Nitzschia acicularis は、それぞれ類似種を含めて計数した。 珪藻綱 Bacillaria paxillifer は従来シノニムである Bacillaria paradoxa とされていたが、本結果では Bacillaria paxillifer を採用した。 珪藻綱 Navicula 属は、類似の属を含めて計数した。 珪藻綱 Pinnularia 属は、類似の属を含めて計数した。 珪藻綱 Rhizosolenia 属として従来分類されていた種のうち、淡水性の種は Urosolenia 属として扱うことが一般的であるため、本結果もこれに従った。 珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5 μm、10 μm、25 μm）で区別して各々計数した。 緑藻綱 Chodatella 属、Lagerheimia 属、Franceia 属は、針状突起の形態等から区別されるが、本結果では区別せずに Chodatella 属に一括して計数した。 緑藻綱 Crucigenia 属とCrucigeniella 属は、細胞の分裂様式から区別されるが、分裂様式が不明なものは Crucigenia 属に一括して計数した。 緑藻綱 Golenkinia 属と Golenkiniopsis 属は、形態から両属を識別することは困難であるため、Golenkinia 属に一括して計数した。 							

調査名：千葉県公共用水域水質監視調査（手賀沼）プランクトン同定計数結果

採取地点			根戸下	手賀沼中央	
採取年月日			2022.1.25	2022.1.25	
採取時刻			14:06	13:40	
全水深(m)			1.85	1.40	
採取水深(m)			0.50	0.50	
採水量(ml)			100	100	
No.	門	綱	出現種名		
1	藍色植物	藍藻	CHROOCOCCALES		(5)
2	クリプト植物	クリプト藻	CRYPTOPHYCEAE	85	30
3	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Peridinium sp.	5	
4	不等毛植物	黄金色藻	Dinobryon sp.	+	
5			Mallomonas spp.	10	5
6		黄緑藻	XANTHOPHYCEAE		5
7		珪藻	Asterionella formosa		+
8			Aulacoseira ambigua	20	60
9			Aulacoseira pusilla	20	+
10			Melosira varians	+	
11			Nitzschia acicularis	75	120
12			Nitzschia fruticosa		+
13			Nitzschia spp.	10	15
14			Skeletonema potamos	140	435
15			Staurosirella berolinensis		30
16			Surirella sp.	+	
17			Ulnaria japonica	30	90
18			Ulnaria sp.	+	
19			Thalassiosiraceae-5	1150	3250
20			Thalassiosiraceae-10	7800	26750
21	ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	Euglena sp.	+	
22	緑色植物	緑藻	Chlorogonium sp.		5
23			Chodatella quadriseta	5	+
24			Coelastrum sp.		+
25			Dictyosphaerium spp.	30	50
26			Golenkinia sp.		5
27			Micractinium spp.	30	30
28			Monoraphidium spp.	35	30
29			Scenedesmus bicaudatus		20
30			Scenedesmus spp.	10	+
31			Schroederia sp.	+	
32			Tetrastrum elegans	20	
33			Tetrastrum sp.	20	
34			CHLOROPHYCEAE	380	425
35	輪形動物	輪虫	Synchaeta sp.		+
36	繊毛虫	多膜口	POLYHYMENOPHORA	+	+
37		-	CILIOPHORA	5	5
38	不明プランクトン		微小鞭毛藻(5μm以下)	150	25
39			鞭毛藻	125	75
40			鞭毛虫	75	75

採取地点		根戸下	手賀沼中央
採取年月日		2022. 1. 25	2022. 1. 25
総数		10230	31540
種類組成	藍藻	0	5
	クリプト藻	85	30
	渦鞭毛藻	5	0
	黄金色藻	10	5
	珪藻	9245	30750
	ユーグレナ藻	0	0
	緑藻	530	565
	その他の植物性動物性	275	105
検査条件		80	80
検査条件	固定条件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理	
	分離条件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5μmメッシュ）により10倍に濃縮した。	
	検鏡条件	定量試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。	
	検鏡者所属氏名	（一財）千葉県環境財団 業務部 五味真人	
備考			
<ul style="list-style-type: none"> ・計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。 ・細胞数の計数が困難である種については、群体数で計数してその結果に（ ）を付した。 ・定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。 ・藍藻綱 Aphanizomenon 属として従来分類されていた種のうち、トリコーム先端部が段階的に明瞭に細くなり尖って終わる種は Cuspidothrix 属に移されたため、本結果もこれに従った。 ・藍藻綱 Anabaena 属として従来分類されていた種のうち、ガス胞をもつ種（浮遊性種）は、異質細胞とアキネートの位置関係から Dolichospermum 属と Sphaerospermopsis 属に再分類されたため、本結果もこれに従うとともに、異質細胞とアキネートが形成されていないトリコームは Nostocaceae 科として計数した。 ・藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis, M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis, M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa, M. viridis, M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。 ・藍藻綱 Oscillatoria 属、Phormidium 属、Lyngbya 属として従来分類されていた種の一部は、光学顕微鏡下での確認が困難な特徴から Pseudanabaena 属等に再分類されたため、特徴的な種及び属以外は OSCILLATORIALES 目等の上位の分類群までの同定に留めた。 ・珪藻綱 Acanthoceras zachariasii は、従来シノニムである Atteya zachariasii とされていたが、本結果では Acanthoceras zachariasii を採用した。 ・珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。 ・珪藻綱 Asterionella formosa, Aulacoseira pusilla, Nitzschia acicularis は、それぞれ類似種を含めて計数した。 ・珪藻綱 Bacillaria paxillifer は従来シノニムである Bacillaria paradoxa とされていたが、本結果では Bacillaria paxillifer を採用した。 ・珪藻綱 Navicula 属は、類似の属を含めて計数した。 ・珪藻綱 Pinnularia 属は、類似の属を含めて計数した。 ・珪藻綱 Rhizosolenia 属として従来分類されていた種のうち、淡水性の種は Urosolenia 属として扱うことが一般的であるため、本結果もこれに従った。 ・珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5μm、10μm、25μm）で区別して各々計数した。 ・緑藻綱 Chodatella 属、Lagerheimia 属、Franceia 属は、針状突起の形態等から区別されるが、本結果では区別せずに Chodatella 属に一括して計数した。 ・緑藻綱 Crucigenia 属とCrucigeniella 属は、細胞の分裂様式から区別されるが、分裂様式が不明なものは Crucigenia 属に一括して計数した。 ・緑藻綱 Golenkinia 属と Golenkiniopsis 属は、形態から両属を識別することは困難であるため、Golenkinia 属に一括して計数した。 			

調査名：千葉県公共用水域水質監視調査（手賀沼）プランクトン同定計数結果

採取地点			根戸下	手賀沼中央	
採取年月日			2022.2.9	2022.2.9	
採取時刻			13:17	12:56	
全水深(m)			1.79	1.35	
採取水深(m)			0.50	0.50	
採水量(ml)			100	100	
No.	門	綱	出現種名		
1	藍色植物	藍藻	Microcystis aeruginosa		+
2	クリプト植物	クリプト藻	CRYPTOPHYCEAE	15	25
3	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Peridinium sp.	5	
4	不等毛植物	黄金色藻	Mallomonas sp.	+	
5		珪藻	Asterionella formosa	+	
6			Aulacoseira ambigua	20	55
7			Aulacoseira pusilla	+	140
8			Gyrosigma sp.	+	
9			Melosira varians	+	
10			Navicula sp.	+	
11			Nitzschia acicularis	80	200
12			Nitzschia spp.	10	5
13			Pinnularia sp.	+	
14			Skeletonema potamos	20	400
15			Staurosirella berolinensis	20	+
16			Ulnaria japonica	25	135
17			Ulnaria spp.	+	+
18			Thalassiosiraceae-5	350	4750
19			Thalassiosiraceae-10	8150	51000
20			Thalassiosiraceae-25	+	
21	ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	Euglena spp.	5	+
22	緑色植物	緑藻	Actinastrum sp.	+	
23			Chlorogonium sp.		5
24			Chodatella quadriseta	10	
25			Dictyosphaerium spp.		100
26			Golenkinia sp.	+	
27			Monoraphidium spp.	5	35
28			Scenedesmus spp.	+	20
29			Schroederia spp.	5	15
30			CHLOROPHYCEAE	105	270
31	繊毛虫	多膜口	Tintinnidium sp.		+
32			POLYHYMENOPHORA		5
33		-	CILIOPHORA	+	
34	不明プランクトン		微小鞭毛藻(5μm以下)	75	150
35			鞭毛藻	50	75
36			鞭毛虫	100	375
総数				9050	57760
種類組成					
			藍藻	0	0
			クリプト藻	15	25
			渦鞭毛藻	5	0
			黄金色藻	0	0
			珪藻	8675	56685
			ユーグレナ藻	5	0
			緑藻	125	445
			その他の植物性	125	225
			動物性	100	380
検査条件			固定条件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理	
			分離条件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5μmメッシュ）により10倍に濃縮した。	
			検鏡条件	定量試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。	
			検鏡者所属氏名	（一財）千葉県環境財団 業務部 五味真人	
備考					
<ul style="list-style-type: none"> 計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。 細胞数の計数が困難である種については、群体数で計数してその結果に（ ）を付した。 定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。 藍藻綱 Aphanizomenon 属として従来分類されていた種のうち、トリコーム先端部が段階的に明瞭に細くなり尖って終わる種は Cuspidothrix 属に移されたため、本結果もこれに従った。 藍藻綱 Anabaena 属として従来分類されていた種のうち、ガス胞をもつ種（浮遊性種）は、異質細胞とアキネートの位置関係から Dolichospermum 属と Sphaerospermopsis 属に再分類されたため、本結果もこれに従うとともに、異質細胞とアキネートが形成されていないトリコームは Nostocaceae 科として計数した。 藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis、M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis、M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa、M. viridis、M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。 藍藻綱 Oscillatoria 属、Phormidium 属、Lyngbya 属として従来分類されていた種の一部は、光学顕微鏡下での確認が困難な特徴から Pseudanabaena 属等に再分類されたため、特徴的な種及び属以外は OSCILLATORIALES 目等の上位の分類群までの同定に留めた。 珪藻綱 Acanthoceras zachariasii は、従来シノニムである Atteya zachariasii とされていたが、本結果では Acanthoceras zachariasii を採用した。 珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。 珪藻綱 Asterionella formosa、Aulacoseira pusilla、Nitzschia acicularis は、それぞれ類似種を含めて計数した。 珪藻綱 Bacillaria paxillifer は従来シノニムである Bacillaria paradoxa とされていたが、本結果では Bacillaria paxillifer を採用した。 珪藻綱 Navicula 属は、類似の属を含めて計数した。 珪藻綱 Pinnularia 属は、類似の属を含めて計数した。 珪藻綱 Rhizosolenia 属として従来分類されていた種のうち、淡水性の種は Urosolenia 属として扱うことが一般的であるため、本結果もこれに従った。 珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5μm、10μm、25μm）で区別して各々計数した。 緑藻綱 Chodatella 属、Lagerheimia 属、Franceia 属は、針状突起の形態等から区別されるが、本結果では区別せずに Chodatella 属に一括して計数した。 緑藻綱 Crucigenia 属とCrucigeniella 属は、細胞の分裂様式から区別されるが、分裂様式が不明なものは Crucigenia 属に一括して計数した。 緑藻綱 Golenkinia 属と Golenkiniopsis 属は、形態から両属を識別することは困難であるため、Golenkinia 属に一括して計数した。 					

調査名：千葉県公共用水域水質監視調査（手賀沼）プランクトン同定計数結果

採取地点			根戸下	手賀沼中央
採取年月日			2022.2.22	2022.2.22
採取時刻			13:33	13:12
全水深(m)			1.95	1.44
採取水深(m)			0.50	0.50
採水量(ml)			100	100
No.	門	綱	出現種名	
1	藍色植物	藍藻	CHROOCOCCELES	(10)
2			OSCILLATORIALES	(5)
3	クリプト植物	クリプト藻	CRYPTOPHYCEAE	30
4	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Peridinium sp.	5
5	不等毛植物	黄金色藻	Dinobryon spp.	25
6			Mallomonas sp.	+
7		珪藻	Asterionella formosa	+
8			Aulacoseira ambigua	30
9			Aulacoseira pusilla	+
10			Melosira varians	3
11			Nitzschia acicularis	85
12			Nitzschia spp.	35
13			Skeletonema potamos	65
14			Staurosirella berolinensis	+
15			Ulnaria japonica	80
16			Ulnaria spp.	10
17			Thalassiosiraceae-5	425
18			Thalassiosiraceae-10	6000
19	ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	Euglena spp.	+
20			Trachelomonas sp.	5
21	緑色植物	緑藻	Actinastrum spp.	40
22			Chodatella quadriseta	15
23			Chodatella wratislawiensis	5
24			Coelastrum sp.	+
25			Dictyosphaerium spp.	+
26			Elakatothrix sp.	+
27			Golenkinia sp.	5
28			Micractinium spp.	40
29			Monoraphidium spp.	5
30			Scenedesmus acuminatus	40
31			Scenedesmus spp.	40
32			Schroederia sp.	+
33			CHLOROPHYCEAE	210
34	繊毛虫	多膜口	POLYHYMENOPHORA	10
35		-	CILIOPHORA	+
36	不明プランクトン		微小鞭毛藻(5μm以下)	75
37			鞭毛藻	200
38			鞭毛虫	25

採取地		根戸下	手賀沼中央
採取年月日		2022. 2. 22	2022. 2. 22
総数		7413	53668
種類組成	藍藻	0	15
	クリプト藻	30	15
	渦鞭毛藻	0	5
	黄金色藻	25	5
	珪藻	6733	52838
	ユーグレナ藻	0	20
	緑藻	315	415
	その他の植物性動物	275	250
検査条件		35	105
検査条件	固定条件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理	
	分離条件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5μmメッシュ）により10倍に濃縮した。	
	検鏡条件	定量試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。	
	検鏡者所属氏名	（一財）千葉県環境財団 業務部 五味真人	
備考			
<ul style="list-style-type: none"> ・計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。 ・細胞数の計数が困難である種については、群体数で計数してその結果に（ ）を付した。 ・定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。 ・藍藻綱 Aphanizomenon 属として従来分類されていた種のうち、トリコーム先端部が段階的に明瞭に細くなり尖って終わる種は Cuspidothrix 属に移されたため、本結果もこれに従った。 ・藍藻綱 Anabaena 属として従来分類されていた種のうち、ガス胞をもつ種（浮遊性種）は、異質細胞とアキネートの位置関係から Dolichospermum 属と Sphaerospermopsis 属に再分類されたため、本結果もこれに従うとともに、異質細胞とアキネートが形成されていないトリコームは Nostocaceae 科として計数した。 ・藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis, M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis, M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa, M. viridis, M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。 ・藍藻綱 Oscillatoria 属、Phormidium 属、Lyngbya 属として従来分類されていた種の一部は、光学顕微鏡下での確認が困難な特徴から Pseudanabaena 属等に再分類されたため、特徴的な種及び属以外は OSCILLATORIALES 目等の上位の分類群までの同定に留めた。 ・珪藻綱 Acanthoceras zachariasii は、従来シノニムである Atteya zachariasii とされていたが、本結果では Acanthoceras zachariasii を採用した。 ・珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。 ・珪藻綱 Asterionella formosa, Aulacoseira pusilla, Nitzschia acicularis は、それぞれ類似種を含めて計数した。 ・珪藻綱 Bacillaria paxillifer は従来シノニムである Bacillaria paradoxa とされていたが、本結果では Bacillaria paxillifer を採用した。 ・珪藻綱 Navicula 属は、類似の属を含めて計数した。 ・珪藻綱 Pinnularia 属は、類似の属を含めて計数した。 ・珪藻綱 Rhizosolenia 属として従来分類されていた種のうち、淡水性の種は Urosolenia 属として扱うことが一般的であるため、本結果もこれに従った。 ・珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5μm、10μm、25μm）で区別して各々計数した。 ・緑藻綱 Chodatella 属、Lagerheimia 属、Franceia 属は、針状突起の形態等から区別されるが、本結果では区別せずに Chodatella 属に一括して計数した。 ・緑藻綱 Crucigenia 属とCrucigeniella 属は、細胞の分裂様式から区別されるが、分裂様式が不明なものは Crucigenia 属に一括して計数した。 ・緑藻綱 Golenkinia 属と Golenkiniopsis 属は、形態から両属を識別することは困難であるため、Golenkinia 属に一括して計数した。 			

調査名：千葉県公共用水域水質監視調査（手賀沼）プランクトン同定計数結果

採取地点			根戸下	手賀沼中央
採取年月日			2022.3.2	2022.3.2
採取時刻			13:50	13:20
全水深(m)			1.88	1.40
採取水深(m)			0.50	0.50
採水量(ml)			100	100
No.	門	綱	出現種名	
1	藍色植物	藍藻	Pseudanabaena sp.	(5)
2			CHROOCOCCALES	(10)
3			OSCILLATORIALES	(5)
4	クリプト植物	クリプト藻	CRYPTOPHYCEAE	55
5	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Gymnodinium sp.	+
6			Peridinium spp.	+
7	不等毛植物	黄金色藻	Mallomonas sp.	+
8			Synura sp.	+
9		珪藻	Asterionella formosa	5
10			Aulacoseira ambigua	40
11			Aulacoseira pusilla	120
12			Fragilaria spp.	25
13			Melosira varians	30
14			Nitzschia acicularis	130
15			Nitzschia fruticosa	
16			Nitzschia spp.	25
17			Skeletonema potamos	60
18			Staurosirella berolinensis	20
19			Ulnaria japonica	85
20			Ulnaria spp.	1
21	Thalassiosiraceae-5	175		
22	Thalassiosiraceae-10	7000		
23	ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	Euglena spp.	5
24	緑色植物	緑藻	Actinastrum spp.	+
25			Chlorogonium spp.	5
26			Chodatella quadriseta	
27			Dictyosphaerium spp.	20
28			Elakatothrix sp.	+
29			Eudorina sp.	
30			Micractinium spp.	40
31			Monoraphidium spp.	10
32			Scenedesmus spp.	20
33			Tetrastrum elegans	
34			CHLOROPHYCEAE	200
35	輪形動物	輪虫	BDELLOIDEA	+
36	繊毛虫	貧膜口	SESSILIDA	1
37			多膜口	Tintinnidium sp.
38		-	POLYHYMENOPHORA	20
39			CILIOPHORA	+
40	不明プランクトン		微小鞭毛藻(5μm以下)	150
41			鞭毛藻	150
42			鞭毛虫	125

採取地		根戸下	手賀沼中央
採取年月日		2022.3.2	2022.3.2
総数		8517	75177
種類組成	藍藻	20	5
	クリプト藻	55	65
	渦鞭毛藻	0	5
	黄金色藻	0	0
	珪藻	7716	74061
	ユーグレナ藻	5	10
	緑藻	295	505
	その他の植物性動物	300	300
検査条件	固定条件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理	
	分離条件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5μmメッシュ）により10倍に濃縮した。	
	検鏡条件	定量試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。	
	検鏡者所属氏名	（一財）千葉県環境財団 業務部 五味真人	
備考			
<ul style="list-style-type: none"> ・計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。 ・細胞数の計数が困難である種については、群体数で計数してその結果に（ ）を付した。 ・定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。 ・藍藻綱 Aphanizomenon 属として従来分類されていた種のうち、トリコーム先端部が段階的に明瞭に細くなり尖って終わる種は Cuspidothrix 属に移されたため、本結果もこれに従った。 ・藍藻綱 Anabaena 属として従来分類されていた種のうち、ガス胞をもつ種（浮遊性種）は、異質細胞とアキネートの位置関係から Dolichospermum 属と Sphaerospermopsis 属に再分類されたため、本結果もこれに従うとともに、異質細胞とアキネートが形成されていないトリコームは Nostocaceae 科として計数した。 ・藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis, M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis, M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa, M. viridis, M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。 ・藍藻綱 Oscillatoria 属、Phormidium 属、Lyngbya 属として従来分類されていた種の一部は、光学顕微鏡下での確認が困難な特徴から Pseudanabaena 属等に再分類されたため、特徴的な種及び属以外は OSCILLATORIALES 目等の上位の分類群までの同定に留めた。 ・珪藻綱 Acanthoceras zachariasii は、従来シノニムである Atteya zachariasii とされていたが、本結果では Acanthoceras zachariasii を採用した。 ・珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。 ・珪藻綱 Asterionella formosa, Aulacoseira pusilla, Nitzschia acicularis は、それぞれ類似種を含めて計数した。 ・珪藻綱 Bacillaria paxillifer は従来シノニムである Bacillaria paradoxa とされていたが、本結果では Bacillaria paxillifer を採用した。 ・珪藻綱 Navicula 属は、類似の属を含めて計数した。 ・珪藻綱 Pinnularia 属は、類似の属を含めて計数した。 ・珪藻綱 Rhizosolenia 属として従来分類されていた種のうち、淡水性の種は Urosolenia 属として扱うことが一般的であるため、本結果もこれに従った。 ・珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5μm、10μm、25μm）で区別して各々計数した。 ・緑藻綱 Chodatella 属、Lagerheimia 属、Franceia 属は、針状突起の形態等から区別されるが、本結果では区別せずに Chodatella 属に一括して計数した。 ・緑藻綱 Crucigenia 属とCrucigeniella 属は、細胞の分裂様式から区別されるが、分裂様式が不明なものは Crucigenia 属に一括して計数した。 ・緑藻綱 Golenkinia 属と Golenkiniopsis 属は、形態から両属を識別することは困難であるため、Golenkinia 属に一括して計数した。 			

調査名：千葉県公共用水域水質監視調査（手賀沼）プランクトン同定計数結果

採取地点			根戸下	手賀沼中央		
採取年月日			2022.3.8	2022.3.8		
採取時刻			9:34	9:10		
全水深(m)			1.85	1.40		
採取水深(m)			0.50	0.50		
採水量(ml)			100	100		
No.	門	綱	出現種名			
1	藍色植物	藍藻	Aphanizomenon sp.	(+)		
2			Merismopedia spp.	(10)		
3			Pseudanabaena spp.	(30)		
4			CHROOCOCCALES	(+)		
5			OSCILLATORIALES	(10)		
6	クリプト植物	クリプト藻	CRYPTOPHYCEAE	20 25		
7	渦鞭毛植物	渦鞭毛藻	Peridinium sp.	5		
8	不等毛植物	黄金色藻 珪藻	Mallomonas sp.	+		
9			Asterionella formosa	5 8		
10			Aulacoseira ambigua	90 140		
11			Aulacoseira pusilla	95 145		
12			Aulacoseira sp.	+		
13			Fragilaria spp.	5 30		
14			Gyrosigma sp.	+		
15			Melosira varians	+		
16			Nitzschia acicularis	255 750		
17			Nitzschia fruticosa	+		
18			Nitzschia spp.	65 20		
19			Skeletonema potamos	285 2425		
20			Staurosirella berolinensis	+		
21			Surirella sp.	+		
22			Ulnaria japonica	195 180		
23			Ulnaria spp.	+		
24			Thalassiosiraceae-5	550 1500		
25			Thalassiosiraceae-10	12250 42500		
26	Thalassiosiraceae-25	5				
27	ユーグレナ植物	ユーグレナ藻	Euglena spp.	5 +		
28	緑色植物	緑藻	Actinastrum spp.	+ 40		
29			Chlorogonium spp.	10 25		
30			Chodatella quadriseta	+		
31			Crucigenia fenestrata	+		
32			Dictyosphaerium spp.	20 40		
33			Micractinium spp.	40 40		
34			Monoraphidium spp.	10 20		
35			Pandorina morum	16		
36			Scenedesmus spp.	70 40		
37			Tetrastrum elegans	20		
38			Tetrastrum heterocanthum	20		
39			CHLOROPHYCEAE	265 155		
40			繊毛虫	多膜口	POLYHYMENOPHORA	5
41					-	CILIOPHORA
42			不明プランクトン		微小鞭毛藻(5μm以下)	175 25
43					鞭毛藻	300 150
44	鞭毛虫	100 275				

採取地点		根戸下	手賀沼中央
採取年月日		2022.3.8	2022.3.8
総数		14855	48724
種類組成	藍藻	10	40
	クリプト藻	20	25
	渦鞭毛藻	5	0
	黄金色藻	0	0
	珪藻	13800	47808
	ユーグレナ藻	5	0
	緑藻	435	396
	その他の植物性動物性	475	175
検査条件		105	280
検査条件	固定条件	定量試料：グルタルアルデヒド溶液による固定（1%） 定性試料：無処理	
	分離条件	定量試料：採水試料を原液及び適宜希釈して検鏡試料とした。 定性試料：採水試料50mlをプランクトンネット（5μmメッシュ）により10倍に濃縮した。	
	検鏡条件	定量試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。 定性試料：枠付界線入スライドガラス（1.0ml）に検鏡試料を注入し、倒立型顕微鏡（100～400倍）で検鏡した。	
	検鏡者所属氏名	（一財）千葉県環境財団 業務部 五味真人	
備考			
<ul style="list-style-type: none"> ・計数値の単位は、「細胞/ml」又は「個体/ml」である。 ・細胞数の計数が困難である種については、群体数で計数してその結果に（ ）を付した。 ・定量検鏡（計数時）において未出現の種が定性検鏡で確認された場合は、結果を+で示した。 ・藍藻綱 Aphanizomenon 属として従来分類されていた種のうち、トリコーム先端部が段階的に明瞭に細くなり尖って終わる種は Cuspidothrix 属に移されたため、本結果もこれに従った。 ・藍藻綱 Anabaena 属として従来分類されていた種のうち、ガス胞をもつ種（浮遊性種）は、異質細胞とアキネートの位置関係から Dolichospermum 属と Sphaerospermopsis 属に再分類されたため、本結果もこれに従うとともに、異質細胞とアキネートが形成されていないトリコームは Nostocaceae 科として計数した。 ・藍藻綱 Microcystis 属の種は、群体の形質から M. viridis、M. wesenbergii は容易に同定できるが、この2種類以外のものについては同定が困難な場合がある。したがって、M. viridis、M. wesenbergii 以外の種類は、最も一般的に出現している M. aeruginosa として同定し、M. aeruginosa、M. viridis、M. wesenbergii の3種類について各々計数した。また、単独細胞を計数したものは、すべて M. aeruginosa とした。 ・藍藻綱 Oscillatoria 属、Phormidium 属、Lyngbya 属として従来分類されていた種の一部は、光学顕微鏡下での確認が困難な特徴から Pseudanabaena 属等に再分類されたため、特徴的な種及び属以外は OSCILLATORIALES 目等の上位の分類群までの同定に留めた。 ・珪藻綱 Acanthoceras zachariasii は、従来シノニムである Atteya zachariasii とされていたが、本結果では Acanthoceras zachariasii を採用した。 ・珪藻綱 Aulacoseira 属の種は、従来 Melosira 属で分類されていたが、胞紋構造や連結針の違いから Aulacoseira 属に組み替えられており、一般的に使用されていることから本結果もこれに従った。 ・珪藻綱 Asterionella formosa、Aulacoseira pusilla、Nitzschia acicularis は、それぞれ類似種を含めて計数した。 ・珪藻綱 Bacillaria paxillifer は従来シノニムである Bacillaria paradoxa とされていたが、本結果では Bacillaria paxillifer を採用した。 ・珪藻綱 Navicula 属は、類似の属を含めて計数した。 ・珪藻綱 Pinnularia 属は、類似の属を含めて計数した。 ・珪藻綱 Rhizosolenia 属として従来分類されていた種のうち、淡水性の種は Urosolenia 属として扱うことが一般的であるため、本結果もこれに従った。 ・珪藻綱 Thalassiosira 科の種（Cyclotella 属、Stephanodiscus 属等）は、光学顕微鏡下での同定が困難であるため細胞の殻面直径（3サイズ：5μm、10μm、25μm）で区別して各々計数した。 ・緑藻綱 Chodatella 属、Lagerheimia 属、Franceia 属は、針状突起の形態等から区別されるが、本結果では区別せずに Chodatella 属に一括して計数した。 ・緑藻綱 Crucigenia 属とCrucigeniella 属は、細胞の分裂様式から区別されるが、分裂様式が不明なものは Crucigenia 属に一括して計数した。 ・緑藻綱 Golenkinia 属と Golenkiniopsis 属は、形態から両属を識別することは困難であるため、Golenkinia 属に一括して計数した。 			